User's
Manual

TN10
通信インタフェース説明書

IM 77E01B01-10

YOKOGAWA
横河電機株式会社

IM 77E01B01-10
3版

Blank Page

はじめに

本書は，TN10の通信仕様書です。
本書は，以下の構成になっています。

1章：通信回線仕様を説明します。
2章：通信プロトコルを説明します。
3章：ユニット共有データ構成を説明します。
4章：ユニット固有データ構成を説明します。
本書は，TN10小形テレモニタの通信仕様について説明しています。

■対象とする読者

本書の内容は，テレメータ本来の機能を理解した計装エンジニアおよび保守担当者を対象にしています。

■関連する資料

●TN10小形テレモニタ取扱説明書（IM 77E01B01-01）
●TN95パラメータ設定ツール取扱説明書（IM 77B01B11-01）

Media No. IM 77E01B01-10 (CD) 3rd Edition : May. 2004 (YK)
All Rights Reserved. Copyright © 1999, Yokogawa Electric Corporation

Blank Page

TN10
通信インタフェース説明書

IM 77E01B01-10　3版

目　次

はじめに i

1. 通信回線 1-1
1.1 親局通信回線 1-1
1.1.1 回線制御 1-2
1.1.1.1 回線の確立 1-2
1.1.1.2 回線の解放 1-3
1.1.1.3 回線接続の認識 1-3
1.1.1.4 回線切断の認識 1-4
1.1.2 セキュリティ 1-5
1.1.3 発報受信確認 1-6
1.2 端末通信回線 1-7

2. 通信プロトコル 2-1
2.1 通信フレーム 2-1
2.1.1 コマンドフレーム 2-1
2.1.2 レスポンスフレーム 2-3
2.1.3 チェックサム 2-4
2.1.4 エラーコード 2-4
2.2 データ 2-5
2.3 データ型 2-7
2.4 コマンド 2-7
2.4.1 JXHコマンド 2-8
2.4.2 JXWコマンド 2-9
2.4.3 JXSコマンド 2-10
2.4.4 MHSコマンド 2-11

3. ユニット共有データ構成 3-1
3.1 動作モード 3-4
3.2 パスワード照合 3-5
3.3 発報要因 3-6
3.4 発報受信確認 3-7
3.5 ダウン日付 3-8
3.6 ダウン時刻 3-9
3.7 ユニット接続状態 3-10
3.8 警報履歴 3-11
3.9 新規警報 3-15
3.10 定時処理データ 3-19
3.11 一次周期データ 3-23
3.12 二次周期データ 3-28
3.13 パラメータ操作 3-35
3.14 スタートアップモード 3-36
3.15 日付 3-37
3.16 時刻 3-38

3.17 局名 3-39
3.18 RUN発報動作 3-40
3.19 ダイヤル方式 3-41
3.20 電話回線種類 3-42
3.21 モデムイニシャライズコマンド 3-43
3.22 セキュリティ動作 3-44
3.23 パスワード 3-45
3.24 再照合回数 3-46
3.25 照合監視時間 3-47
3.26 リダイヤル回数 3-48
3.27 リダイヤル間隔 3-49
3.28 再発報回数 3-50
3.29 メッセージ再送信回数 3-51
3.30 警報発報動作 3-52
3.31 （第1～第3）警報発報先 3-53
3.32 警報発報終了条件 3-54
3.33 メッセージ送信動作 3-55
3.34 （第1～第3）メッセージ送信先 3-56
3.35 メッセージセンタ番号 3-57
3.36 メッセージ送信先タイプ 3-58
3.37 システムスタートメッセージ 3-59
3.38 定時発報動作 3-60
3.39 （第1～第3）定時発報先 3-61
3.40 定時発報終了条件 3-62
3.41 定時発報遅延時間 3-63
3.42 （第1～第24）定時処理時刻 3-64
3.43 日報発報動作 3-65
3.44 （第1～第3）日報発報先 3-66
3.45 日報発報終了条件 3-67
3.46 日報発報遅延時間 3-68
3.47 日報処理時刻 3-69
3.48 一次周期記録周期 3-70
3.49 二次周期記録周期 3-71

4. ユニット固有データ構成 4-1
4.1 形名 4-7
4.2 入出力コード 4-8
4.3 自己診断結果 4-9
4.4 立ち上げ状態 4-10
4.5 ファームRev 4-11
4.6 メニューRev 4-12
4.7 アナログ入力値（1～4） 4-13
4.8 アナログ出力値（1～4） 4-14
4.9 接点入力状態 4-15
4.10 接点入力積算値（1～4） 4-16
4.11 接点出力（1～8） 4-17
4.12 パルス出力（1～8） 4-18
4.13 警報検出状態 4-19
4.14 ユニットタグ番号 4-20
4.15 ユニットコメント 4-21
4.16 （ディジタル入力1～8）チャネルダク番号 4-22
4.17 （ディジタル入力1～4）積算方式 4-23

4.18 （ディジタル入力1～8）警報検出条件 4-24
4.19 （ディジタル入力1～8）警報検出遅延時間 4-25
4.20 （ディジタル入力1～8）警報検出動作 4-26
4.21 （ディジタル入力1～8）警報発生メッセージ 4-27
4.22 （ディジタル入力1～8）警報復帰メッセージ 4-28
4.23 （アナログ入力1～4）チャネルダク番号 4-29
4.24 （アナログ入力1～4）第1警報点 4-30
4.25 （アナログ入力1～4）第2警報点 4-31
4.26 （アナログ入力1～4）第3警報点 4-32
4.27 （アナログ入力1～4）第4警報点 4-33
4.28 （アナログ入力1～4）警報検出条件 4-34
4.29 （アナログ入力1～4）ロックアップ幅 4-35
4.30 （アナログ入力1～4）警報検出遅延時間 4-36
4.31 （アナログ入力1～4）警報検出動作 4-37
4.32 （アナログ入力1～4）警報発生メッセージ 4-38
4.33 （アナログ入力1～4）警報復帰メッセージ 4-39

取扱説明書 改訂情報 i

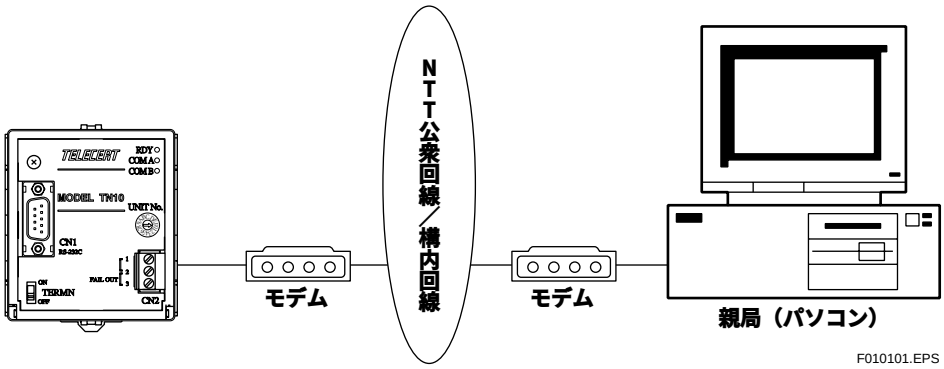
Blank Page

1. 通信回線

TN10には，親局通信回線と端末通信回線という2つの通信回線経路があります。

1.1 親局通信回線

親局通信回線は，NTT一般公衆回線を介して遠隔の親局（パソコン）と通信する場合の回線経路です。この回線経路は，システム運用時に使用するもので，TN10の全ての機能を使用することができます。また，親局で設定ツール（TN95）を起動することによって，TN10の動作を定義したり入出力をモニタリングすることも可能です。



F010101.EPS

図　親局通信回線

表　親局通信回線仕様（TN10－モデム）

項目	仕様
伝送速度	9600 bps（固定）
伝送方式	半二重通信
伝送規格	EIA RS-232-C　準拠
データ長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
パリティ	なし
エラー検出	チェックサム（単純加算2バイト）
コネクタ	D-sub 9 pinコネクタ　オス（インチネジ）
ケーブル	モデム付属のRS-232Cストレートケーブル（DCE接続用）

T010101.EPS

表　親局通信回線仕様（モデム－モデム）

項目	仕様
適用回線	NTT2線式一般公衆回線および 構内PBX（2線式　NTTに準拠）
電話回線用インタフェース	2線式インタフェース（モジュラージャック）
DTEインタフェース	EIA RS-232-C準拠
推奨モデム(*1)	当社製：TN30

T010102.EPS

*1： モデムは同一機種の組み合わせでご使用ください。

1.1.1 回線制御

親局通信回線では，親局との通信に公衆回線を使用するため，通信を行う前に電話回線を接続する必要があります。また，通信の終了時には，電話回線を切断する必要があります。電話回線の接続や切断は，モデム（NCU）にて管理されます。親局はモデムに対してATコマンドを発信することにより，電話回線の接続や切断を制御します。また，TN10からの回線の接続や切断は，モデムからのコマンド受信により認識します。
以下に，一般的なプロトコルを説明します。詳細はモデムの説明書を参照して下さい。

1.1.1.1 回線の確立

電話回線を接続してTN10との通信を可能にします。

[通信手順]

(1) 親局は回線接続コマンド（ATDPnnnn<CR><LF> またはATDTnnnn<CR><LF>）をモデムへ送信します。
(2) モデムはTN10に電話をかけ回線を接続します。
(3) 電話回線が接続されると，モデムは回線接続通知（CONNECT<CR><LF>）を返信します。親局は回線接続通知を受信することにより回線の確立を認識します。
(4) 以後，親局はTN10とデータの転送を行います。

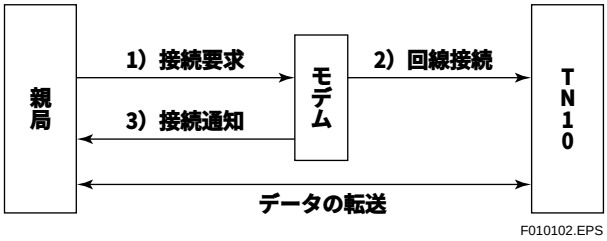


図　回線確立

1.1.1.2 回線の解放

電話回線を切断します。TN10との通信はできなくなります。

[通信手順]

(1) 親局はTN10とデータの転送を行っています。
(2) 親局はモデムとの通信の再開（+++を送信）を宣言します。
(3) 通信先がモデムに切り換わると，モデムは正常復帰（OK<CR><LF>）を返信します。親局は回線切断コマンド（ATH<CR><LF>）をモデムへ送信します。
(4) モデムは電話回線を切断します。
(5) 電話回線が切断されると，モデムは正常復帰（OK<CR><LF>）を返信します。

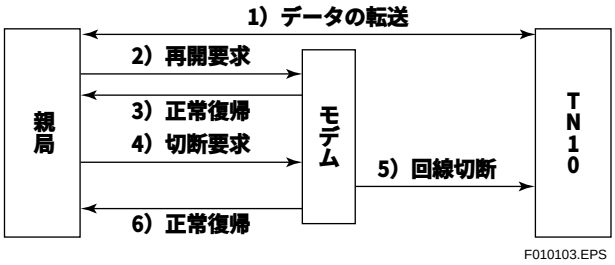


図　回線解放

1.1.1.3 回線接続の認識

TN10が電話回線を接続した場合には，モデムから回線接続通知を受け取ります。
TN10は，各種発報（警報／定時／日報）時に，回線を接続します。

[通信手順]

(1) TN10が通信回線を接続します。
(2) 電話回線が接続されると，モデムは回線接続通知（CONNECT<CR><LF>）を送信します。親局は回線接続通知を受信することにより回線の確立を認識します。
(3) 以後，親局はTN10とデータの転送を行います。

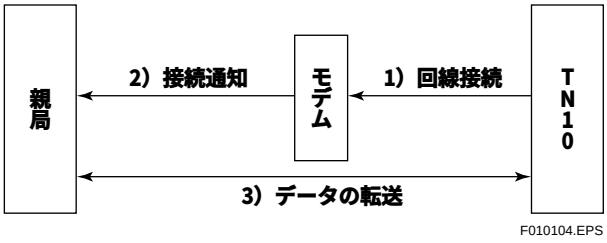


図　回線接続認識

1.1.1.4 回線切断の認識

TN10が電話回線を切断した場合には，モデムから回線切断通知を受け取ります。
TN10は，パスワード照合が正常に行われなかった場合や，親局からのコマンド送信が60秒以上なかった場合に，強制的に回線を切断します。

[通信手順]

(1) 親局はTN10とデータの転送を行っています。
(2) TN10が通信回線を切断します。
(3) 電話回線が切断されると，モデムは回線切断通知（NOCARRIER<CR><LF>）を送信します。親局は回線切断通知を受信することにより回線の切断を認識します。

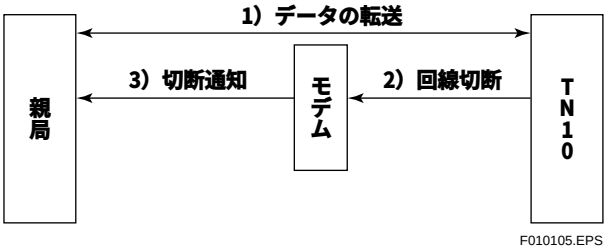


図　回線切断認識

1.1.2 セキュリティ

親局通信回線では，TN10側にパスワード照合によるセキュリティをかけることができます。このパスワード照合により，第3者からのTN10に対する不正アクセスや回線占有を防止することができます。
親局からTN10に回線接続する場合，最初にパスワード照合コマンドを送信し，パスワード照合を行う必要があります。TN10は正しいパスワードが照合が行われるまで，すべてのコマンドに対するレスポンスをエラーとします。
TN10から親局に回線接続する場合には，パスワード照合を行う必要はありません。
またパスワード照合時に，以下のいずれかの条件が満たされると，TN10は電話回線を強制的に切断します。

(1) 再照合回数オーバー
誤ったパスワードによる照合が，再照合回数で設定された回数行われた。
(2) 照合監視時間タイムアウト
正しいパスワードによる照合が行われる前に，照合監視時間で設定した時間が経過した。

セキュリティ機能を使用する場合の設定パラメータを次に示します。

表　セキュリティ機能の設定パラメータ

ユニット共有設定パラメータ	内容
セキュリティ動作	パスワード照合にるセキュリティ動作（有効／無効）を設定します。
パスワード	パスワード（最大8文字）を設定します。
再照合回数	誤ったパスワードで照合したときの再試行回数（0～255回）を設定します。
照合監視時間	回線が接続されてから正しいパスワードを照合するまでの監視時間（1～3600秒）を設定します。

T010103.EPS

セキュリティ機能を使用する場合の操業データを次に示します。

表　セキュリティ機能の操業データ

ユニット共有設定パラメータ	内容
パスワード照合	パスワードを設定データとし、設定パラメータに設定されたパスワードとの照合を行います。

T010104.EPS

1.1.3 発報受信確認

TN10は発報要因の検出により，TN10と親局との電話回線を接続します。親局は回線接続通知を受信した場合，子局名および発報要因を読み出し，発報受信確認を行う必要があります。また，発報要因に応じて付加情報を読み出すことも必要となります。

[発報受信確認の手順]

(1) TN10は，発報要因を検出すると親局との回線を接続します。
(2) 親局はモデムからの回線接続通知を受信し，発報を認識します。
(3) 親局は子局名を読み出し，発報したTN10を識別します。
(4) 親局は発報要因を読み出し，発報要因を識別します。
(5) 親局は発報要因毎に異なる付加情報データを読み出し，必要な付加情報を取得します。
(6) 親局は発報受信確認し，発報の受信をTN10に通知します。
(7) 親局は回線の切断します。

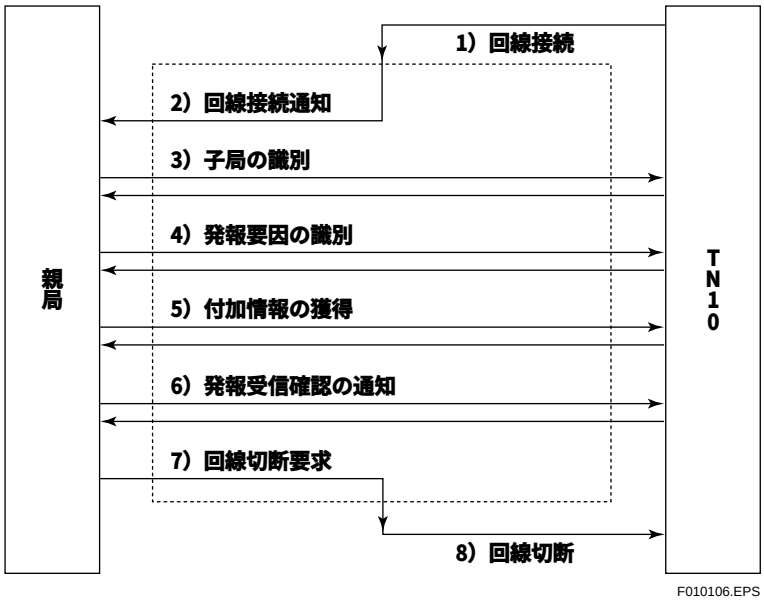
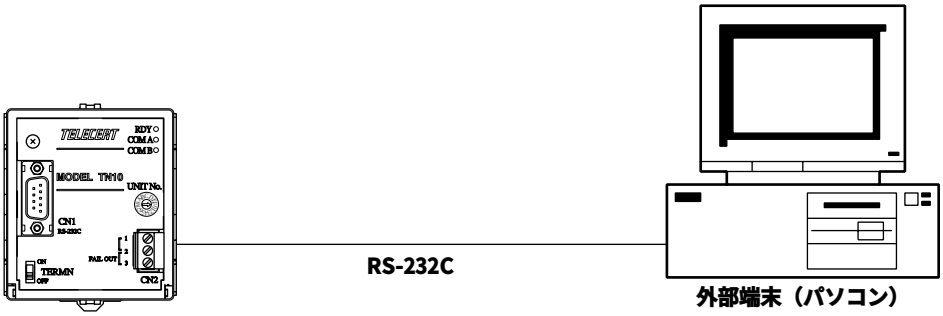


図　発報受信確認手順

点線内は，親局アプリケーションプログラムで処理する必要があります。なおセキュリティ動作が有効な場合は，子局識別の前にパスワード照合を行う必要があります。

1.2 端末通信回線

端末通信回線は，RS-232Cで直結した外部端末（パソコン）と通信する場合の回線経路です。この回線経路は，設定ツール（TN95）を用いてTN10の動作を定義したり入出力をモニタリングするためのもので，システム運用することはできません。



F010201.EPS

図　端末通信回線

表　端末通信回線仕様（TN10－パソコン）

項目	仕様
伝送速度	9600 bps（固定）
伝送方式	半二重通信
伝送規格	EIA RS-232-C　準拠
データ長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
パリティ	なし
コネクタ	D-sub 9 pinコネクタ　オス（インチネジ）
ケーブル	パソコン同士を接続するRS-232Cクロスケーブル

T010201.EPS

Blank Page

2. 通信プロトコル

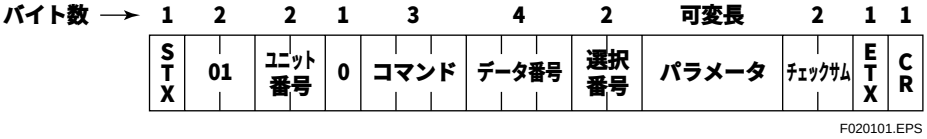
データの転送時の通信プロトコルは，コマンド／レスポンス方式です。親局からのコマンド（要求）に対して，TN10がレスポンス（応答）を返します。

2.1 通信フレーム

通信フレームはキャラクタで構成され，コマンドとレンスポンスとでは形式が異なります。

2.1.1 コマンドフレーム

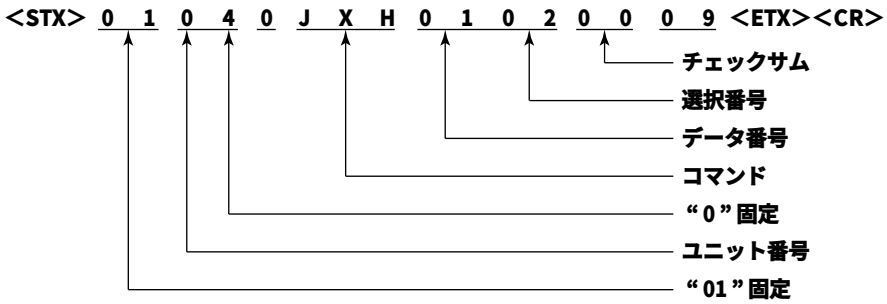
コマンドの通信フレームを以下に示します。



F020101.EPS

［STX］
　通信テキストの始まりを示します。対応する文字コードは02（16進）です。
［ユニット番号］
　ユニット共有データにアクセスする場合は00を指定し，ユニット固有データにアクセスする場合はそのユニットのユニット番号を指定します。
［コマンド］
　コマンド（JXH／JXW／JXS／MHS）を指定します。
［データ番号］
　アクセスするデータのデータ番号を示します。
［選択番号］
　アクセスするデータが選択型データの場合は対応する選択番号を指定し，それ以外の場合には00を指定します。
［パラメータ］
　コマンド毎に異なる付加情報を指定します。
　JXWおよびMHSコマンドの場合のみ，パラメータを指定します。
［チェックサム］
　誤り検出のためにチェックサムを指定します。
［ETX］
　通信テキストの終わりを示します。対応する文字コードは03（16進）です。
［CR］
　通信フレームの終わりを示します。対応する文字コードは0D（16進）です。

例



F020102.EPS

2.1.2 レスポンスフレーム

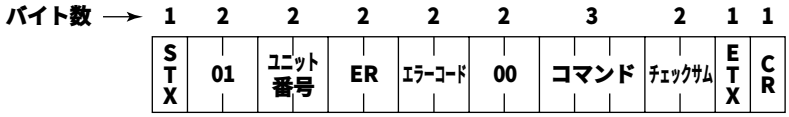
レスポンスの通信フレームは，正常時と異常時とで異なります。

• 正常時

F020103.EPS

[STX]
通信テキストの始まりを示します。対応する文字コードは02（16進）です。
[ユニット番号]
コマンドで指定したユニット番号が返ります。
[データ番号]
コマンドで指定したデータ番号が返ります。
[選択番号]
コマンドで指定した選択番号が返ります。
[タイプ]
応答データのデータタイプが返ります。
[応答データ]
コマンドに対応するデータが返ります。
[チェックサム]
誤り検出のためにチェックサムを指定します。
[ETX]
通信テキストの終わりを示します。対応する文字コードは03（16進）です。
[CR]
通信フレームの終わりを示します。対応する文字コードは0D（16進）です。

• 異常時



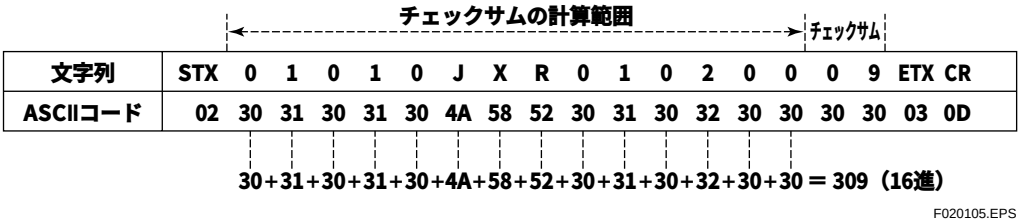
F020104.EPS

[STX]
通信テキストの始まりを示します。対応する文字コードは02（16進）です。
[ユニット番号]
コマンドで指定したユニット番号が返ります。
[エラーコード]
エラーの内容を2桁の16進数字で示します。
[コマンド]
コマンドで指定したコマンドが返ります。
[チェックサム]
誤り検出のためにチェックサムを指定します。
[ETX]
通信テキストの終わりを示します。対応する文字コードは03（16進）です。
[CR]
通信フレームの終わりを示します。対応する文字コードは0D（16進）です。

2.1.3 チェックサム

チェックサムの計算方法を以下に示します。

(1) ＜STX＞の次の文字からチェックサムの手前までの文字をASCIIコード（16進）で1バイトづつ加算します。
(2) 加算結果の下位1バイトを取り出します。
(3) 取り出した1バイトを16進表記した時の文字列（2文字）をチェックサムとします。



F020105.EPS

図　チェックサム

2.1.4 エラーコード

レスポンス異常時に返すエラーコードを次に示します。

表　エラーコード

分類	エラーコード	エラー名称	エラーの内容
シンタックスエラー	01	不正ユニット番号	ユニット番号に不正な値を指定しました。
	02	不正コマンド	存在しないコマンドを指定しました。
	04	不正データ番号	データ番号のシンタックスが不正です。
	08	不正パラメータ	パラメータのバイト数が不正です。
上位通信エラー	42	サムチェックエラー	チェックサムが正しくありません。
	43	モードエラー	スレーブユニットに回線が接続されています。スレーブユニットのRS-232Cコネクタ経由で通信を行うことはできません。
機器間通信エラー	D1	デバイスエラー	機器間通信でスレーブからエラーが返されました。
	D2	デバイス通信エラー	機器間通信でエラーが発生しました。
	E2	デバイスノットレディ	機器間通信でスレーブから応答が返りません。タイムアウト時間は1秒です。

T020101.EPS

2.2 データ

データは，ユニット共有データとユニット固有データに大きく分類されます。

ユニット共有データは，ユニット間で共有するデータで，警報発報先や記録データなどがあります。ユニット共有データにアクセスする場合は，ユニット番号に00を指定してアクセスします。
ユニット固有データは，ユニット毎に独立したデータで，警報検出条件や入力瞬時値データなどがあります。該当ユニット番号を指定してアクセスします。

ユニット共有データおよびユニット固有データは，さらに設定パラメータと操業データに分類されます。

設定パラメータを設定することにより，TN10本体の動作を定義することができます。
設定パラメータは動作モードに関係なくいつでも読み出すことはできますが，書き込みは動作モードがSTOP状態の場合に限定されます。

操業データを読み出すことにより，発報要因や記録結果などを取得することができます。
また，操業データへの書き込みにより，動作モードや出力などを制御することもできます。
操業データは動作モードに関係なくいつでも読み書きすることが可能です。RUN状態では，操業データは随時変化します。

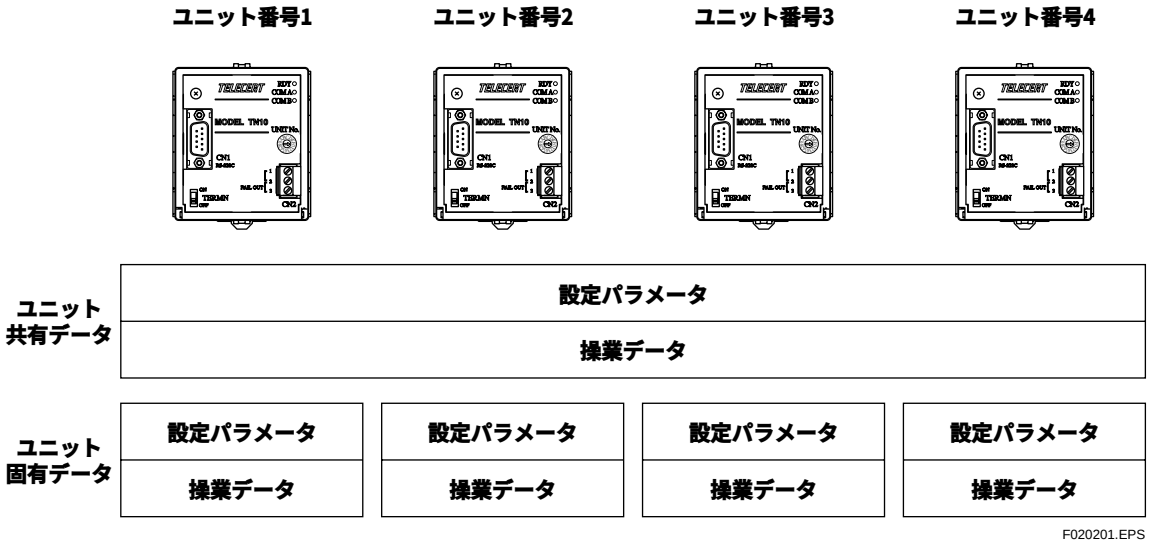


図　データ分類

表　ユニット共有データ

データ分類	機能分類	内容
操業データ	操業情報	動作モード制御や各種記録データの読み出しを行います。
設定パラメータ	全体構成	ユニット全体の構成（時刻など）を設定します。
	通信条件	親局との通信条件を設定します。
	警報発報	警報発報の動作を設定します。
	定時発報	定時発報の動作を設定します。
	日報発報	日報発報の動作を設定します。
	一次周期記録	一次周期記録の動作を設定します。
	二次周期記録	二次周期記録の動作を設定します。

T020201.EPS

表　ユニット固有データ

データ分類	機能分類	内容
操業データ	識別情報	ユニットの種別（形名や入出力コードなど）を読み出します。
	構成情報	ユニットの構成（ファームウェアRevなど）を読み出します。
	操業情報	入出力測定や出力制御を行います。
設定パラメータ	ユニット	ユニット全体の設定を行います。
	チャネル	警報の検出条件をチャネル毎に設定します。

T020202.EPS

2.3 データ型

TN10のデータ型を次に示します。

表　データ型

データ型	内容
文字列型	書き込みおよび読み出し時ともに、8文字の文字列データとなります。
選択型	書き込み時には選択番号を指定し、読み出し時には選択番号に対応した8文字の文字列データとなります。
記録型	各種記録データ（警報履歴／新規警報／定時処理データ／一次周期データ／二次周期データ）がこのデータ型となります。読み出し専用で書き込むことはできません。

T020301.EPS

2.4 コマンド

TN10のコマンドを次に示します。

表　コマンド

コマンド	ASCIIコード（16進）	内容
JXH	4A，58，48	選択型および文字列型データを文字列で読み出します。
JXW	4A，58，57	文字列型データに文字列（8文字）を書き込みます。
JXS	4A，58，53	選択型データを選択番号を書き込みます。
MHS	4D，48，53	記録データを読み出します。

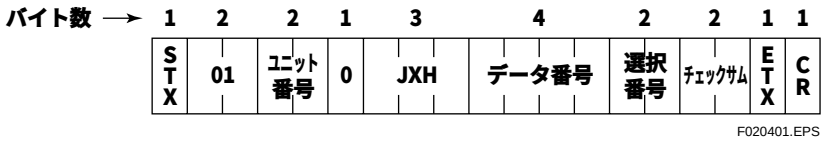
T020401.EPS

2.4.1 JXHコマンド

[機能]

指定ユニット番号の文字列型および選択型データを，文字列データ（8文字）で読み出します。記録型データを読み出すことはできません。

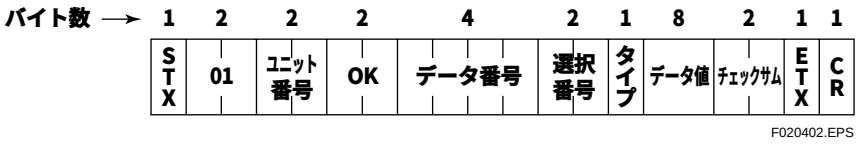
[コマンド形式]



F020401.EPS

- データ番号：読み出すデータのデータ番号を指定します。
- 選択番号：選択型データの場合のみ，対応する選択番号を指定します。それ以外の場合は，必ず00を指定します。選択型データで00を指定すると現在選択している選択番号となります。

[レスポンス形式]



F020402.EPS

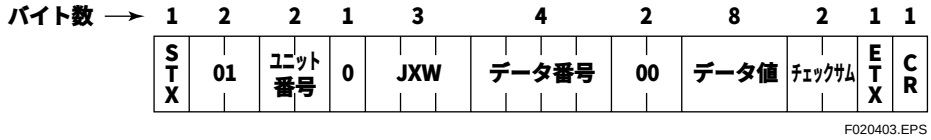
- データ番号：読み出したデータのデータ番号が返ります。
- 選択番号：コマンドで指定した選択番号が返ります。
- タイプ：読み出したデータのタイプ（＝3：8バイト長）が返ります。
- データ値：読み出した文字列データが返ります。

2.4.2 JXWコマンド

[機能]

指定ユニット番号の文字列データに，文字列データ（8文字）を書き込みます。

[コマンド形式]



F020403.EPS

・ データ番号：書き込むデータのデータ番号を指定します。
・ データ値：書き込む文字列データを指定します。

[レスポンス形式]

F020404.EPS

・ データ番号：書き込んだデータのデータ番号が返ります。
・ タイプ：書き込み後に読み出したデータのタイプ（＝3：8バイト長）が返ります。
・ データ値：書き込み後に読み出した文字列データが返ります。

[注意事項]

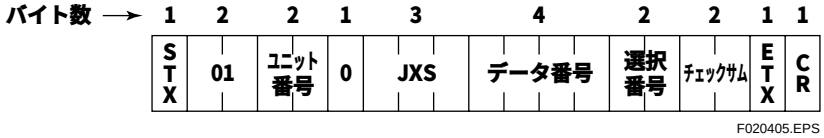
(1) 数値データを書き込む場合には，データ値の最初の文字は，“＋”，“－”およびスペースのいずれかにして下さい。また，“＋”，“－”，“．”，“0”～“9”およびスペース以外の文字は使用しないで下さい。
(2) 固定小数点型のデータを書き込む場合には，データ値に小数点を必ず入れて下さい。
(3) 許容範囲外のデータ値を指定した場合には，許容範囲内に限定された値が書き込まれます。レスポンスのデータ値を参照して，書き込みが正しく行われたかを必ず確認して下さい。

2.4.3 JXSコマンド

[機能]

指定ユニット番号の選択型データに，選択番号を書き込みます。

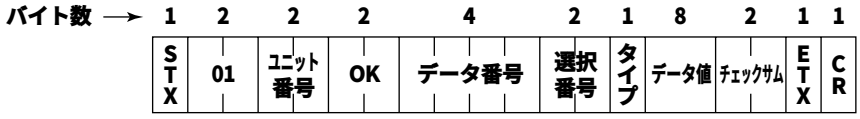
[コマンド形式]



F020405.EPS

・ データ番号：書き込むデータのデータ番号を指定します。
・ 選択番号：書き込む選択番号を指定します。

[レスポンス形式]



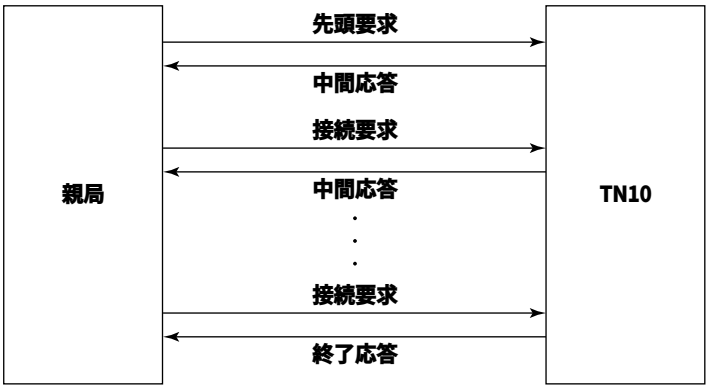
F020406.EPS

・ データ番号：書き込んだデータのデータ番号が返ります。
・ 選択番号：書き込んだ選択番号が返ります。
・ タイプ：書き込み後に読み出したデータのタイプ（＝3：8バイト長）が返ります。
・ データ値：書き込んだ選択番号に対応する文字列データが返ります。

2.4.4 MHSコマンド

[機能]

各種記録データ（警報履歴，新規警報，定時処理データ，一次周期データ，二次周期データ）を読み出します。
記録データはすべてユニット共有データであるため，ユニット番号には00を指定して読み出します。
記録データはデータサイズが大変大きいため，複数のやりとりでデータを転送します。また，データ構成も記録データの種類により異なります。



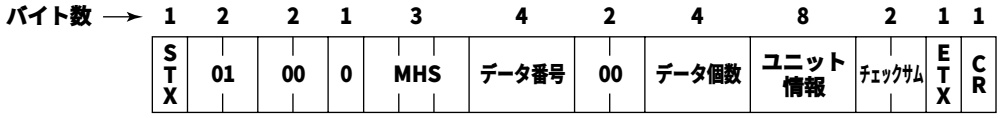
F020407.EPS

[コマンド形式]

(1) 先頭要求（完全形式）
対象とするユニットと日時を指定して記録データを読み込みます。

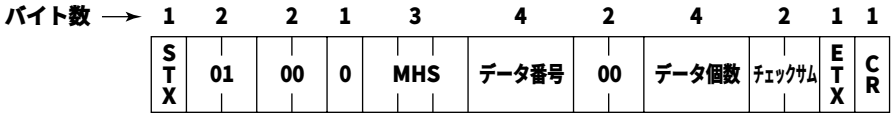
F020408.EPS

(2) 先頭要求（省略形式1）
対象とするユニットのみを指定して記録データを読み込みます。



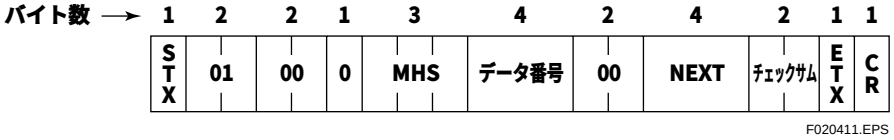
F020409.EPS

(3) 先頭要求（省略形式2）
データの検索条件を指定せずに記録データを読み出します。



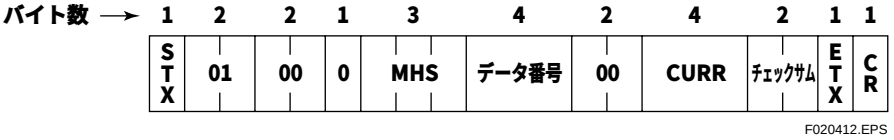
F020410.EPS

(4) 継続要求（次のデータ）
応答された次の記録データを読み出します。



F020411.EPS

(5) 継続要求（同一データ）
応答された記録データを再度読み出します。

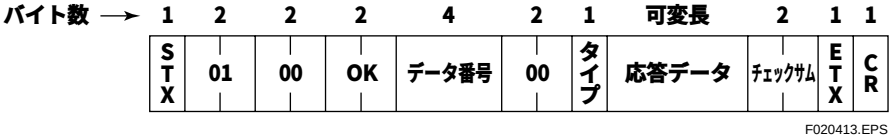


F020412.EPS

- データ番号：読み出すデータのデータ番号を指定します。
- データ個数：読み出すデータの個数を指定します。
- ユニット情報：読み出しの対象となるユニットのユニット番号を指定します。
- 開始日時：読み出しを開始するデータの日時を指定します。

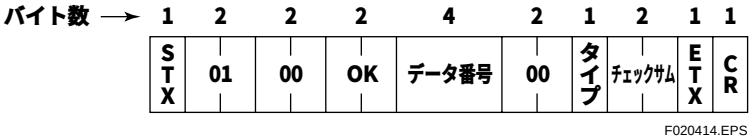
[レスポンス形式]

(1) 中間応答
応答データを返して，応答が継続することを示します。



F020413.EPS

(2) 終了応答
空の応答データを返して，応答が終了したことを示します。



F020414.EPS

- データ番号：読み出したデータのデータ番号が返ります。
- タイプ：読み出したデータのタイプ（＝X：可変長）が返ります。
- 応答データ：読み出したデータが返ります。読み出したデータの種類により構成が異なります。

3. ユニット共有データ構成

ユニット共有データは，各ユニットで共有するデータです。

表　ユニット共有コマンド構成（その1）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
操業データ	操業情報	03	01	動作モード	STOP状態			RW
					RUN状態			
			10	パスワード照合	パスワード		—	W
			20	発報要因	なし			R
					警報発報			
					定時発報			
					日報発報			
			21	発報受信確認	なし		—	W
					警報発報			
					定時発報			
					日報発報			
			57	ダウン日付	年／月／日		—	R
			58	ダウン時刻	時：分：秒		—	R
			59	ユニット接続状態	ユニット接続状態		—	R
			65	警報履歴	警報の発生／復帰の履歴		—	R
			66	新規警報	新規に発生／復帰した警報		—	R
			70	定時処理データ	最近の定時処理時刻の測定結果		—	R
			71	一次周期データ	一次周期記録の時系列データ		—	R
			72	二次周期データ	二次周期記録の時系列データ		—	R
設定パラメータ	全体構成	05	01	パラメータ操作	現在値保存		—	W
					保存値読込			
					初期値読込			
			02	スタートアップモード	STOP状態		STOP状態	RW
					RUN状態			
			03	日付	年／月／日		未定義	RW
			04	時刻	時：分：秒		未定義	RW
			05～06	局名	16文字		未定義	RW
			07	RUN発報動作	有効		有効	RW
					無効			

T030001.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット共有コマンド構成（その2）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	通信条件	06	01	ダイヤル方式	パルス式 トーン式		トーン式	RW
			02	電話回線種類	一般公衆回線 構内PBX		一般公衆回線	RW
			11～18	モデムイニシャライズコマンド	64文字		未定義	RW
			20	セキュリティ動作	有効 無効		無効	RW
			21	パスワード	8文字		未定義	RW
			22	再照合回数	0～255	回	3	RW
			23	照合監視時間	1～3600	秒	60	RW
			31	リダイヤル回数	0～255	回	3	RW
			32	リダイヤル間隔	60～3600	秒	60	RW
			33	再発報回数	0～255	回	3	RW
			41	メッセージ再送信回数	0～255	回	3	RW
	警報発報	07	01	警報発報動作	無効 発生のみ 発生と復帰		無効	RW
			02～05	第1警報発報先	32文字		未定義	RW
			06～09	第2警報発報先	32文字		未定義	RW
			10～13	第3警報発報先	32文字		未定義	RW
			20	警報発報終了条件	1局確認で終了 全局確認で終了		1局確認で終了	RW
			21	メッセージ送信動作	無効 発生のみ 発生と復帰		無効	RW
			30～33	第1メッセージ送信先	32文字		未定義	RW
			34～37	第2メッセージ送信先	32文字		未定義	RW
			38～41	第3メッセージ送信先	32文字		未定義	RW
			42～45	メッセージセンタ番号	32文字		未定義	RW
			50	送信先タイプ	通常ポケベル 漢字ポケベル 携帯電話 PHS		通常ポケベル	RW
			61～68	システムスタートメッセージ	64文字		未定義	RW

T030002.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット共有コマンド構成（その3）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	定時発報	08	01	定時発報動作	無効 有効		無効	RW
			02～05	第1定時発報先	32文字		未定義	RW
			06～09	第2定時発報先	32文字		未定義	RW
			10～13	第3定時発報先	32文字		未定義	RW
			20	定時発報終了条件	1局確認で終了 全局確認で終了		1局確認で終了	RW
			30	定時発報遅延時間	0～3600	秒	0	RW
			31～54	第1～24 定時処理時刻	時：分：秒		未定義	RW
	日報発報	09	01	日報発報動作	無効 有効		無効	RW
			02～05	第1日報発報先	32文字		未定義	RW
			06～09	第2日報発報先	32文字		未定義	RW
			10～13	第3日報発報先	32文字		未定義	RW
			20	日報発報終了条件	1局確認で終了 全局確認で終了		1局確認で終了	RW
			30	日報発報遅延時間	0～3600	秒	0	RW
			31	日報処理時刻	時：分：秒		未定義	RW
	一次周期	11	02	一次周期記録周期	1／2／5 ／10／30／60	分	1	RW
	二次周期	12	02	二次周期記録周期	1／2／3 ／6／12／24	時間	1	RW

T030003.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

3.1 動作モード

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 動作モード	データ番号	0301
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	RUN／STOP

説明

TN10の動作モードを定義します。
動作モードは以下の2種から選択し，初期値はスタートアップモードにより定義されます。

選択番号	データ値	説明	
01	STOP□□□□	STOP状態	動作を定義するモードであり，発報および記録機能は動作しません。
02	RUN□□□□□	RUN状態	発報および記録機能が動作します。システム運用モードであり，動作を定義することはできません

T030101.EPS

RUN発報動作が有効な場合，STOP状態からRUN状態へ変更した時にシステム警報（再スタート）を発報します。

プロトコル

動作モード（STOP状態）を読み出す。
要求：01000JXH030100
応答：0100OK0301003STOP□□□□

動作モード（RUN状態）を書き込む。
要求：01000JXS030102
応答：0100OK0301023RUN□□□□□

関連データ

スタートアップモード（0502），RUN発報動作（0507）

3.2 パスワード照合

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 パスワード照合	**データ番号**	0310
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	文字列型
	参照	不可
	設定	RUN／STOP

説明

パスワードを書き込むことにより，パスワードの照合を行います。
正しいパスワードを照合した場合には，書き込みが正常に行われたのと同じ応答が返信されます。不正なパスワードを照合した場合には，エラー（不正パラメータ）が返信されます。

プロトコル

パスワード（正しいパスワード「ABCD」）を照合する。
要求：01000JXW031000ABCD□□□□
応答：0100OK0310003ABCD□□□□

パスワード（誤ったパスワード「XYZ123」）を照合する。
要求：01000JXW031000XYZ123□□
応答：0100ER0800JXW

関連データ

セキュリティ動作（0620），パスワード（0621），再照合回数（0622），照合監視時間（0623）

3.3 発報要因

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0320
データ分類	操業データ 操業情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

発報要因

説明

親局への発報要因を読み込みます。親局はTN10から回線接続された場合に，発報要因を読み込むことにより発報の要因を認識します。
発報要因には以下の4種があります。

データ値	内容
NONE□□□□	なし
ALARM□□□	警報発報
TIMELY□□	定時発報
DAILY□□□	日報発報

T030301.EPS

プロトコル

発報要因（警報発報）を読み込む。
要求：01000JXH032000
応答：0100OK0320003ALARM□□□

関連データ

発報受信確認（0321）

3.4 発報受信確認

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 発報受信確認	**データ番号**	0321
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	文字列型
	参照	不可
	設定	RUN／STOP

説明

発報要因を書き込むことにより，発報を受信したことをTN10に通知します。
親局は発報に対する処理を完了したときに，読み込んだ発報要因を発報受信確認へ書き込み，発報を受信したことをTN10に通知します。TN10は発報受信の通知を受けとることにより，発報要因を破棄します。
発報受信確認が正しく行われた場合には，書き込みパラメータと同じ応答が返信されます。誤った発報要因で発報受信確認を行った場合には，エラー（不正パラメータ）が返信されます。

プロトコル

正しい発報要因（警報発報）で発報受信を確認する。
要求：01000JXW032100ALARM□□□
応答：0100OK0321003ALARM□□□

誤った発報要因（定時発報）で発報受信を確認する。
要求：01000JXW032100CONST□□□
応答：0100ER0800JXW

関連データ

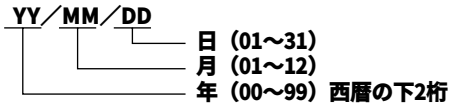
発報要因（0320）

3.5 ダウン日付

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 ダウン日付	**データ番号**	0357
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

システム異常（停電など）によりTN10がダウンした日付を示します。
ダウン日付の表現形式を以下に示します。



F030501.EPS

プロトコル

ダウン日付（99年3月12日）を読み込む。
要求：01000JXH035700
応答：0100OK035700399/03/12

関連データ

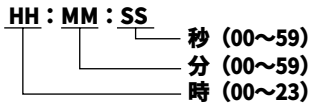
ダウン時刻（0358）

3.6 ダウン時刻

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 ダウン時刻	**データ番号**	0358
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

システム異常（停電など）によりTN10がダウンした時刻を示します。
ダウン時刻の表現形式を以下に示します。



F030601.EPS

プロトコル

ダウン時刻（22時15分）を読み込む。
要求：01000JXH035800
応答：0100OK035800322:15:00

関連データ

ダウン日付（0357）

3.7 ユニット接続状態

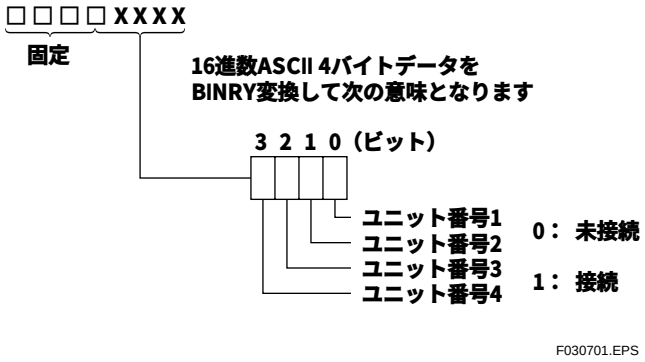
入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0359
データ分類	操業データ
	操業情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

ユニット接続状態

説明

ユニットの接続状態を示します。
ユニット接続状態の表現形式を以下に示します。



プロトコル

ユニット接続状態（ユニット1と2が接続）を読み込む。
要求：01000JXH035900
応答：0100OK0359003□□□□0003

ユニット接続状態（ユニット1～4が接続）を読み込む。
要求：01000JXH035900
応答：0100OK0359003□□□□000F

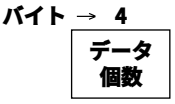
関連データ

3.8 警報履歴

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 警報履歴	**データ番号**	0365
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	記録型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

記録されている警報を，時系列（最新から最古への順）に読み込みます。一度の読み込みではひとつの警報を読み込みます。全ての警報を読み込むには，「終了応答」が応答されるまで連続して読み込みます。要求時のパラメータ構成は以下のとおりです。



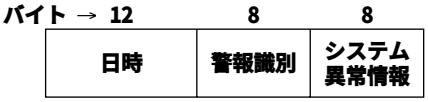
F030801.EPS

［データ個数］読み込む警報の個数を指定します。

F030802.EPS

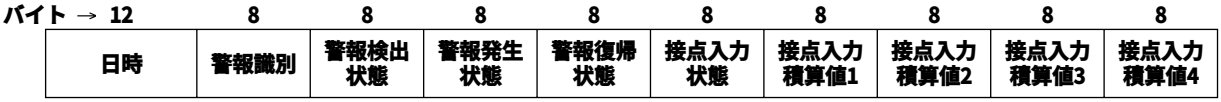
警報はユニット単位で記録されるため，ひとつのユニット内で複数の警報が同時に検出された場合は，ひとつにまとめられて記録されます。また，ユニットの入出力仕様によりデータ構成が異なります。応答時のデータ構成は以下のとおりです。

1）システム警報の場合



F030803.EPS

2）入力警報（入出力コード19）の場合



F030804.EPS

3）入力警報（入出力コード29）の場合

F030805.EPS

4）入力警報（入出力コード22）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点出力状態

F030806.EPS

5）入力警報（入出力コード69）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F030807.EPS

6）入力警報（入出力コード66）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

8	8	8	8
アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F030808.EPS

7）入力警報（入出力コード89）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2

8	8	8	8
アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F030809.EPS

8）入力警報（入出力コード62）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	接点出力状態

F030810.EPS

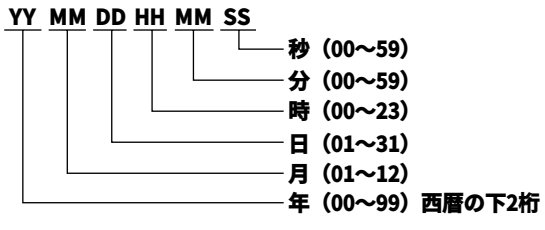
9）入力警報（入出力コード26）の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8
日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2

8	8	8	8
アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

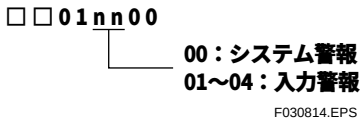
F030811.EPS

［日時］警報が発生／復帰した日時を示します。



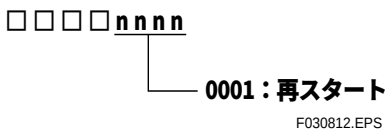
F030813.EPS

［警報識別］システム警報か入力警報かを示します。
ユニット番号が00の場合はシステム警報で，00以外の場合は入力警報となります。
入力警報の場合，警報を検出したユニットのユニット番号を示します。



F030814.EPS

［システム異常情報］システム異常の内容を示します。



F030812.EPS

［警報検出状態］警報検出時の警報状態を示します。表現形式は入出力仕様により異なります。*1, *2

［警報発生状態］新たに警報発生した入力チャネルをを示します。警報検出状態と同一形式で，新規に警報発生した入力チャネルに該当するビットが「1」となります。*1, *2

［警報復帰状態］新たに警報復帰した入力チャネルをを示します。警報検出状態と同一形式で，新規に警報復帰した入力チャネルに該当するビットが「1」となります。*1, *2

［接点入力状態］警報検出時の接点入力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［接点入力積算値1～4］警報検出時の接点入力チャネル1～4の積算値を示します。*1, *2

［アナログ入力値1～4］警報検出時のアナログ入力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

［接点出力状態］警報検出時の接点出力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［アナログ出力値1～4］警報検出時のアナログ出力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

*1： 欠損時には“＊＊＊＊＊＊＊＊＊”となります。
*2： 表現形式の詳細はユニット固有データの操業情報を参照して下さい。

プロトコル

最新の5つの警報を読み込む。

(1) 要求：01000MHS036500□□□5
　　応答：0100OK036500X990716223500□□010000□□□□0001
(2) 要求：01000MHS036500NEXT
　　応答：0100OK036500X990716171200□□010100A0000000A0000000A0000100+□□□12.3
　　+□□□23.4+□□□74.3+□□□52.1
(3) 要求：01000MHS036500NEXT
　　応答：0100OK036500X990716150800□□010100A0000100A0000100A0000000+□□□12.3
　　+□□□23.4+□□110.1+□□□52.1
(4) 要求：01000MHS036500NEXT
　　応答：0100OK036500X990702104500□□010300A0000000A0000000A0010000□□□□LLLL
　　□□□□0031□□□□34AC
(5) 要求：01000MHS036500NEXT
　　応答：0100OK036500X990702072300□□010300A0010000A0010000A0000000□□□□LLLH
　　□□□□0031□□□□34AC
(6) 要求：01000MHS036500NEXT
　　応答：0100OK036500X
　　(1) 99／07／16　22：35：00　システムが再スタートした
　　(2) 99／07／16　17：12：00　ユニット1（入出力コード69）のチャネル3の第4警報が復帰
　　(3) 99／07／16　15：08：00　ユニット1（入出力コード69）のチャネル3の第4警報が発生
　　(4) 99／07／02　10：45：00　ユニット3（入出力コード29）のチャネル1の警報が復帰
　　(5) 99／07／02　07：23：00　ユニット3（入出力コード29）のチャネル1の警報が発生
　　(6) データの終了

関連データ

警報発報動作（0710），警報発報終了条件（0720）
第1警報発報先（0702～0705），第2警報発報先（0706～0709），第3警報発報先（0710～0713）

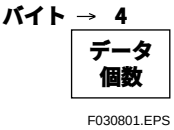
3.9 新規警報

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 新規警報	**データ番号**	0366
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	記録型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

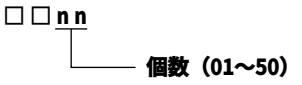
新規に発生／復帰した警報を，時系列（最古から最新への順）に読み込みます。一度の読み込みではひとつの警報を読み込みます。全ての警報を読み込むには，「終了応答」が応答されるまで連続して読み込みを行います。

新規警報の読み込みは，警報発報と組み合わせて使用します。親局は警報発報の受信時に新規警報発報を読み込むことにより，新たに発生／復帰した警報を認識します。
要求時のパラメータ構成は以下のとおりです。



F030801.EPS

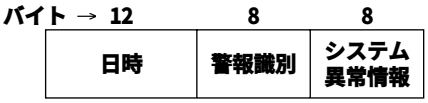
［データ個数］読み込む警報の個数を指定します。



F030802.EPS

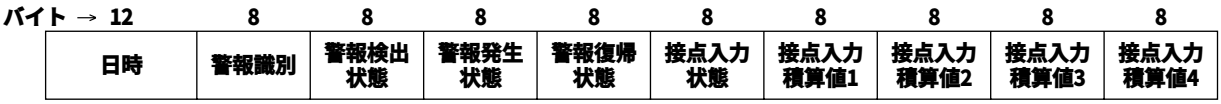
警報はユニット単位で記録されるため，ひとつのユニット内で複数の警報が同時に検出された場合は，ひとつにまとめられて記録されます。また，ユニットの入出力仕様によりデータ構成が異なります。
応答時のデータ構成は以下のとおりです。

1）システム警報の場合



F030803.EPS

2）入力警報（入出力コード19）の場合



F030804.EPS

3）入力警報（入出力コード29）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2

F030805.EPS

4）入力警報（入出力コード22）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点出力状態

F030806.EPS

5）入力警報（入出力コード69）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F030807.EPS

6）入力警報（入出力コード66）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4
						8	8	8	8
						アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F030808.EPS

7）入力警報（入出力コード89）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	
						8	8	8	8
						アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F030809.EPS

8）入力警報（入出力コード62）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	接点出力状態

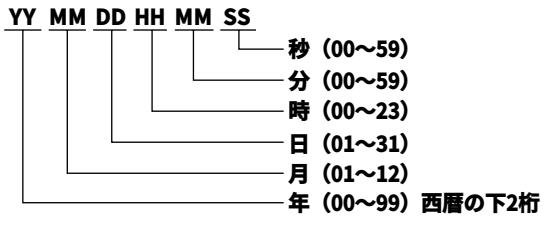
F030810.EPS

9）入力警報（入出力コード26）の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	
	日時	警報識別	警報検出状態	警報発生状態	警報復帰状態	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	
						8	8	8	8
						アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

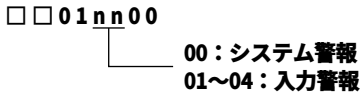
F030811.EPS

［日時］警報が発生／復帰した日時を示します。



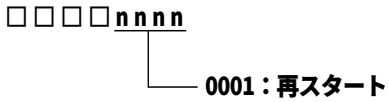
F030813.EPS

［警報識別］システム警報か入力警報かを示します。
ユニット番号が00の場合はシステム警報で，00以外の場合は入力警報となります。
入力警報の場合，警報を検出したユニットのユニット番号を示します。



F030814.EPS

［システム異常情報］システム異常の内容を示します。



F030812.EPS

［警報検出状態］警報検出時の警報状態を示します。表現形式は入出力仕様により異なります。*1, *2

［警報発生状態］新たに警報発生した入力チャネルをを示します。警報検出状態と同一形式で，新規に警報発生した入力チャネルに該当するビットが「1」となります。*1, *2

［警報復帰状態］新たに警報復帰した入力チャネルをを示します。警報検出状態と同一形式で，新規に警報復帰した入力チャネルに該当するビットが「1」となります。*1, *2

［接点入力状態］警報検出時の接点入力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［接点入力積算値1～4］警報検出時の接点入力チャネル1～4の積算値を示します。*1, *2

［アナログ入力値1～4］警報検出時のアナログ入力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

［接点出力状態］警報検出時の接点出力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［アナログ出力値1～4］警報検出時のアナログ出力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

*1： 欠損時には“＊＊＊＊＊＊＊＊＊”となります。
*2： 表現形式の詳細はユニット固有データの操業情報を参照して下さい。

プロトコル

新規に発生／復帰した警報（2つ）を読み込む。

（1）要求：01000MHS036600□□50
　　応答：0100OK036600X990716150800□□010100A0000100A0000100A0000000+□□□12.3
　　+□□□23.4+□□110.1+□□□52.1
（2）要求：01000MHS036600NEXT
　　応答：0100OK036600X990716171200□□010100A0000000A0000000A0000100+□□□12.3
　　+□□□23.4+□□□74.3+□□□52.1
（3）要求：01000MHS036600NEXT
　　応答：0100OK036600X

（1）99／07／16　15：08：00　ユニット1（入出力コード693rd Edition : 2004.05.01-00）のチャネル3の第4警報が発生
（2）99／07／16　17：12：00　ユニット1（入出力コード69）のチャネル3の第4警報が復帰
（3）データの終了

関連データ

警報発報動作（0710），警報発報終了条件（0720）
第1警報発報先（0702～0705），第2警報発報先（0706～0709），第3警報発報先（0710～0713）

3.10 定時処理データ

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 定時処理データ	**データ番号**	0370
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	記録型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

定時発報機能の定時処理で収集した測定結果を読み込みます。定時処理データとして記録されている測定結果は，最新の定時処理時刻のものだけです。

一度の読み込みでは，ひとつのユニットのデータを読み込みます。全てのユニットのデータを読み込む場合には，全てのユニットに対して順番に読み込みを行います。要求時のパラメータの構成は以下のとおりです。

バイト → 4

データ個数	ユニット情報

F031001.EPS

［データ個数］読み込む警報の個数を指定します。
最新のデータのみ保存しているので，データ個数に1を指定します。

□□□1

［ユニット情報］読み込む対象のユニットのユニット番号を指定します。

□□01nn00
ユニット番号（01～04）

F031013.EPS

入出力仕様により定時処理データの構成が異なります。応答時のデータ構成は以下のとおりです。

1）入出力コード19の場合

バイト → 12 8 8 8 8 8 8

日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点入力積算値3	接点入力積算値4

F031002.EPS

2）入出力コード91の場合

バイト → 12 8 8

日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

3）入出力コード29の場合

バイト →	12	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2

F031004.EPS

4）入出力コード92の場合

バイト →	12	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

5）入出力コード22の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点出力状態

F031005.EPS

6）入出力コード69の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F031006.EPS

7）入出力コード96の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031007.EPS

8）入出力コード66の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031008.EPS

9）入出力コード89の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F031009.EPS

10）入出力コード98の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031010.EPS

11）入出力コード62の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	接点出力状態

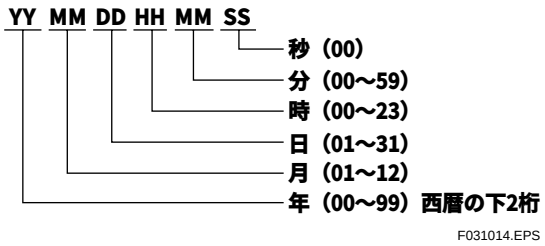
F031011.EPS

12）入出力コード26の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

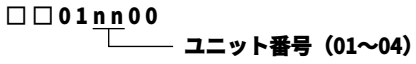
F031012.EPS

［日時］定時処理データを記録した日時を示します。



F031014.EPS

［ユニット情報］記録したユニットのユニット番号を指定します。



F031013.EPS

［接点入力状態］接点入力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［接点入力積算値1～4］接点入力チャネル1～4の積算値を示します。*1, *2

［アナログ入力値1～4］アナログ入力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

［接点出力状態］接点出力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［アナログ出力値1～4］アナログ出力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

*1： 欠損時には“＊＊＊＊＊＊”となります。
*2： 表現形式の詳細はユニット固有データの操業情報を参照して下さい。

プロトコル

ユニット1（入出力コード69）の定時処理データを読み込む。
（1）要求：01000MHS037000□□□1□□010100
　　応答：0100OK037000X990716150000□□010100+□□□12.3+□□□23.4+□□110.1+□□□52.1
（2）要求：01000MHS037000NEXT
　　応答：0100OK037000X

　　（1）99／07／16　15：00：00のデータ
　　（2）データの終了

ユニット3（入出力コード29）の定時処理データを読み込む。
（1）要求：01000MHS037000□□□1□□010300
　　応答：0100OK037000X990716150000□□010300□□□□LLLL□□□□0031□□□□34AC
（2）要求：01000MHS037000NEXT
　　応答：0100OK037000X

　　（1）99／07／16　15：00：00のデータ
　　（2）データの終了

関連データ

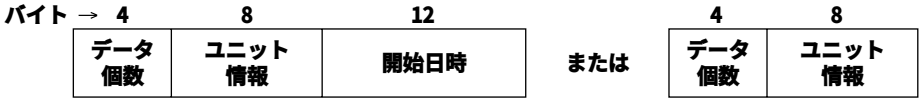
定時発報動作（0801），定時発報遅延時間（0830）
第1定時発報先（0802～0805），第2定時発報先（0806～0809），第3定時発報先（0810～0813）
第1定時処理時刻（0831）・・・第24定時処理時刻（0854）

3.11 一次周期データ

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 一次周期データ	**データ番号**	0371
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	記録型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

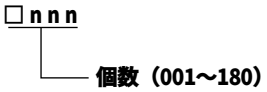
説明

一次周期データを，時系列（最新から最古への順）に読み込みます。一度の読み込みでは，指定ユニットのデータを1個読み込みます。複数個のデータを読み込む場合には，「終了応答」が応答されるまで連続して読み込みを行います。要求時のパラメータ構成は以下のとおりです。



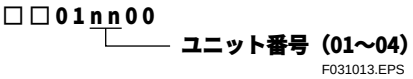
F031101.EPS

［データ個数］読み込む警報の個数を指定します。



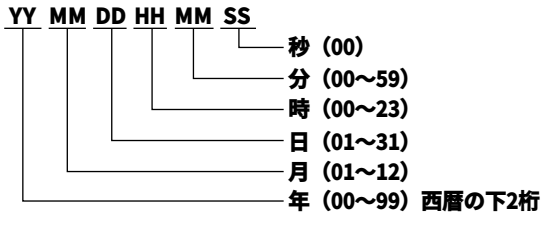
F031102.EPS

［ユニット情報］読み込む対象のユニットのユニット番号を指定します。



F031013.EPS

［開始日時］読み込みを開始する最新データの日時を指定します。省略時には記録されている最新データとなります。



F031014.EPS

入出力仕様により一次周期データの構成が異なります。応答時のデータ構成は以下のとおりです。

1）入出力コード19の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点入力積算値3	接点入力積算値4

F031002.EPS

2）入出力コード91の場合

バイト →	12	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

3）入出力コード29の場合

バイト →	12	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2

F031004.EPS

4）入出力コード92の場合

バイト →	12	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

5）入出力コード22の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点出力状態

F031005.EPS

6）入出力コード69の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F031006.EPS

7）入出力コード96の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031007.EPS

8）入出力コード66の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031008.EPS

9）入出力コード89の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4

F031009.EPS

10）入出力コード98の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031010.EPS

11）入出力コード62の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ入力値2	アナログ入力値3	アナログ入力値4	接点出力状態

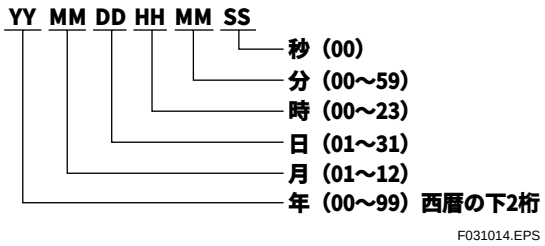
F031011.EPS

12）入出力コード26の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

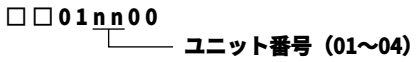
F031012.EPS

［日時］一次周期データを記録した日時を示します。



F031014.EPS

［ユニット情報］記録したユニットのユニット番号を指定します。



F031013.EPS

［接点入力状態］接点入力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［接点入力積算値1～4］接点入力チャネル1～4の積算値を示します。*1, *2

［アナログ入力値1～4］アナログ入力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

［接点出力状態］接点出力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［アナログ出力値1～4］アナログ出力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

*1： 欠損時には“＊＊＊＊＊＊＊＊”となります。
*2： 表現形式の詳細はユニット固有データの操業情報を参照して下さい。

プロトコル

ユニット1（入出力コード69）の一次周期データ（最新の4個）を読み込む。

（1）要求：01000MHS037100□004□□010100
　　応答：0100OK037100X990716150000□□010100+□□□12.3+□□□23.5+□□110.1+□□□52.1
（2）要求：01000MHS037100NEXT
　　応答：0100OK037100X990716140000□□010100+□□□11.3+□□□22.4+□□109.2+□□□51.2
（3）要求：01000MHS037100NEXT
　　応答：0100OK037100X990716130000□□010100+□□□11.9+□□□21.7+□□108.3+□□□50.9
（4）要求：01000MHS037100NEXT
　　応答：0100OK037100X990716120000□□010100+□□□11.3+□□□21.2+□□108.1+□□□50.4
（5）要求：01000MHS037100NEXT
　　応答：0100OK037100X

（1）99／07／16　15：00：00のデータ
（2）99／07／16　14：00：00のデータ
（3）99／07／16　13：00：00のデータ
（4）99／07／16　12：00：00のデータ
（5）データの終了

ユニット3（入出力コード29）の一次周期データ（99年7月10日の10時のデータ）を読み込む。

（1）要求：01000MHS037100□001□□010300990710100000
　　応答：0100OK037100X990710100000□□010300□□□□LLLL□□□□0031□□□□34AC
（2）要求：01000MHS037100NEXT
　　応答：0100OK037100X

（1）99／07／10　10：00：00のデータ
（2）データの終了

関連データ

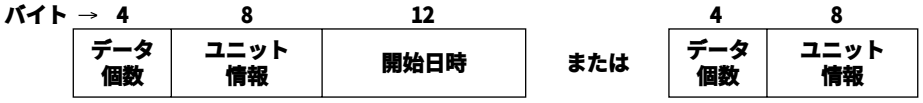
一次周期記録周期（1102）

3.12 二次周期データ

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 二次周期データ	**データ番号**	0372
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	記録型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

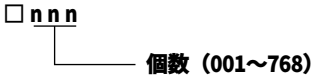
説明

二次周期データを，時系列（最新から最古への順）に読み込みます。一度の読み込みでは，指定ユニットのデータを1個読み込みます。複数個のデータを読み込む場合には，「終了応答」が応答されるまで連続して読み込みを行います。要求時のパラメータ構成は以下のとおりです。



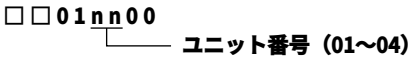
F031101.EPS

［データ個数］読み込む警報の個数を指定します。



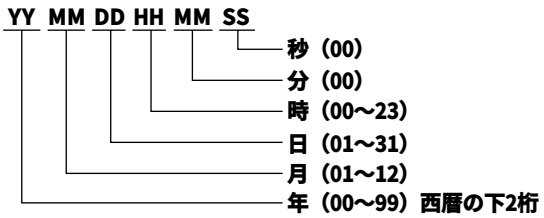
F031212.EPS

［ユニット情報］読み込む対象のユニットのユニット番号を指定します。



F031013.EPS

［開始日時］読み込みを開始する最新データの日時を指定します。省略時には記録されている最新データとなります。



F031210.EPS

入出力仕様により二次周期データの構成が異なります。応答時のデータ構成は以下のとおりです。

1）入出力コード19の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8		
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	接点入力積算値3	接点入力積算値4		
		8	8	8	8	8	8	8	8
		オン変化回数1	オン状態回数1	オン変化回数2	オン状態回数2	オン変化回数3	オン状態回数3	オン変化回数4	オン状態回数4
		8	8	8	8	8	8	8	8
		オン変化回数5	オン状態回数5	オン変化回数6	オン状態回数6	オン変化回数7	オン状態回数7	オン変化回数8	オン状態回数8

F031201.EPS

2）入出力コード91の場合

バイト →	12	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

3）入出力コード29の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	オン変化回数1	オン状態回数1	オン変化回数2	オン状態回数2
						8	8	8	8
						オン変化回数3	オン状態回数3	オン変化回数4	オン状態回数4

F031202.EPS

4）入出力コード92の場合

バイト →	12	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態

F031003.EPS

5）入出力コード22の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	オン変化回数1	オン状態回数1	オン変化回数2	オン状態回数2
						8	8	8	8	8
						オン変化回数3	オン状態回数3	オン変化回数4	オン状態回数4	接点出力状態

F031204.EPS

6）入出力コード69の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ平均値1	アナログ最大値1	最大値時刻1	アナログ最小値1	最小値時刻1	アナログ積算値1
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値2	アナログ平均値2	アナログ最大値2	最大値時刻2	アナログ最小値2	最小値時刻2	アナログ積算値2
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値3	アナログ平均値3	アナログ最大値3	最大値時刻3	アナログ最小値3	最小値時刻3	アナログ積算値3
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値4	アナログ平均値4	アナログ最大値4	最大値時刻4	アナログ最小値4	最小値時刻4	アナログ積算値4

F031205.EPS

7）入出力コード96の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8
日時	ユニット情報	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031007.EPS

8）入出力コード66の場合

バイト → 12	8	8	8	8	8	8	8	8
日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ平均値1	アナログ最大値1	最大値時刻1	アナログ最小値1	最小値時刻1	アナログ積算値1
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値2	アナログ平均値2	アナログ最大値2	最大値時刻2	アナログ最小値2	最小値時刻2	アナログ積算値2
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値3	アナログ平均値3	アナログ最大値3	最大値時刻3	アナログ最小値3	最小値時刻3	アナログ積算値3
		8	8	8	8	8	8	8
		アナログ入力値4	アナログ平均値4	アナログ最大値4	最大値時刻4	アナログ最小値4	最小値時刻4	アナログ積算値4
					8	8	8	8
					アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031206.EPS

9）入出力コード89の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	オン変化回数1	オン状態回数1	オン変化回数2	オン状態回数2	オン変化回数3
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	オン状態回数3	オン変化回数4	オン状態回数4	アナログ入力値1	アナログ平均値1	アナログ最大値1	最大値時刻1	アナログ最小値1	最小値時刻1	アナログ積算値１
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	アナログ入力値2	アナログ平均値2	アナログ最大値2	最大値時刻2	アナログ最小値2	最小値時刻2	アナログ積算値2			
	8	8	8	8	8	8	8			
	アナログ入力値3	アナログ平均値3	アナログ最大値3	最大値時刻3	アナログ最小値3	最小値時刻3	アナログ積算値3			
	8	8	8	8	8	8	8			
	アナログ入力値4	アナログ平均値4	アナログ最大値4	最大値時刻4	アナログ最小値4	最小値時刻4	アナログ積算値4			

F031207.EPS

10）入出力コード98の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点出力状態	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4

F031010.EPS

11）入出力コード62の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	アナログ入力値1	アナログ平均値1	アナログ最大値1	最大値時刻1	アナログ最小値1	最小値時刻1	アナログ積算値1
	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	アナログ入力値2	アナログ平均値2	アナログ最大値2	最大値時刻2	アナログ最小値2	最小値時刻2	アナログ積算値2		
	8	8	8	8	8	8	8		
	アナログ入力値3	アナログ平均値3	アナログ最大値3	最大値時刻3	アナログ最小値3	最小値時刻3	アナログ積算値3		
	8	8	8	8	8	8	8	8	
	アナログ入力値4	アナログ平均値4	アナログ最大値4	最大値時刻4	アナログ最小値4	最小値時刻4	アナログ積算値4	接点出力状態	

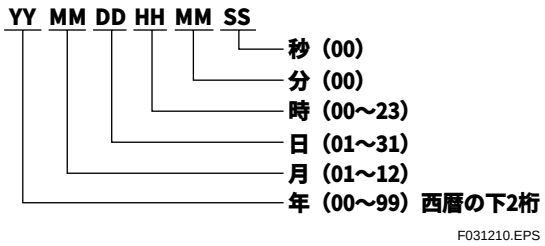
F031208.EPS

12）入出力コード26の場合

バイト →	12	8	8	8	8	8	8	8	8
	日時	ユニット情報	接点入力状態	接点入力積算値1	接点入力積算値2	オン変化回数1	オン状態回数1	オン変化回数2	オン状態回数2
	8	8	8	8	8	8	8	8	
	オン変化回数3	オン状態回数3	オン変化回数4	オン状態回数4	アナログ出力値1	アナログ出力値2	アナログ出力値3	アナログ出力値4	

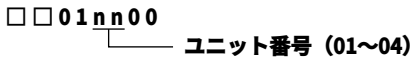
F031209.EPS

［日時］二次周期データを記録した日時を示します。



F031210.EPS

［ユニット情報］記録したユニットのユニット番号を指定します。



F031013.EPS

［接点入力状態］締め切り時の接点入力チャネル1～8の状態を示します。*1, *2

［接点入力積算値1～4］締め切り時の接点入力チャネル1～4の積算値を示します。*1, *2

［オン変化回数1～8］集計の対象となる期間に接点入力チャネル1～8の状態が，オフ（H）からオン（L）に変化した回数を示します。*1, *3

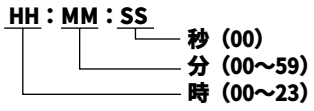
［オン状態回数1～8］集計の対象となる期間に接点入力チャネル1～4が，オン状態であった回数を示します。*1, *3

［アナログ入力値1～4］締め切り時のアナログ入力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

［アナログ平均値1～4］集計の対象となる期間におけるアナログ入力チャネル1～4の平均値を示します。アナログ入力値がひとつでも欠損している場合には，欠損データとなります。*1, *2

［アナログ最大値1～4］集計の対象となる期間におけるアナログ入力チャネル1～4の入力最大値を示します。アナログ入力値がひとつでも欠損している場合には，欠損データとなります。*1, *2

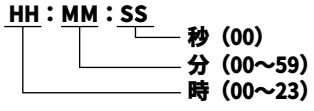
［最大値時刻1～4］アナログ最大値を測定した時刻を示します。複数時刻で同一な最大値を測定した場合には，古い時刻のものを記録します。



F031211.EPS

［アナログ最小値1～4］集計の対象となる期間におけるアナログ入力チャネル1～4の入力最小値を示します。アナログ入力値がひとつでも欠損している場合には，欠損データとなります。*1, *2

［最小値時刻1～4］アナログ最小値を測定した時刻を示します。複数時刻で同一な最小値を測定した場合には，古い時刻のものを記録します。



F031211.EPS

［アナログ積算値1～4］集計の対象となる期間におけるアナログ入力チャネル1～4の積算値（「-99999.9」～「99999.9」%）を示します。アナログ入力値がひとつでも欠損している場合には，欠損データとなります。*4

［接点出力状態］締め切り時の接点出力チャネル1～4の状態を示します。*1, *2

［アナログ出力値1～4］締め切り時のアナログ出力チャネル1～4の値を示します。*1, *2

*1： 欠損時には“＊＊＊＊＊＊＊＊＊”となります。
*2： 表現形式の詳細はユニット固有データの操業情報を参照して下さい
*3： 接点入力積算値とは異なり高周波のパルスを計数することはできません。一次周期記録の記録周期より長い時間で変化する接点を入力してください。
*4： オーバーフロー時には“＊＊＊＊＊＊＊＊＊”となります。

プロトコル

ユニット1（入出力コード69）の二次周期データ（最新の2個）を読み込む。

（1）要求：01000MHS037200□002□□010100

応答：0100OK037200X990716150000□□010100+□□□42.3+□□□□42.5+□□□62.514:23:00
+□□□□39.414:45:00+□2550.0+□□□32.3+□□□□32.5+□□□52.514:23:00+□□□□
29.414:45:00+□1950.0+□□□52.3+□□□□52.5+□□□72.514:23:00+□□□□39.414:45:
00+□3250.0+□□□42.3+□□□□42.5+□□□62.514:23:00+□□□□39.414:45:00+□2550.0

（2）要求：01000MHS037200NEXT

応答：0100OK037200X990716140000□□010100+□□□42.1+□□□□42.3+□□□62.313:22:00
+□□□□39.213:45:00+□2550.0+□□□32.3+□□□□32.5+□□□52.514:23:00+□□□□
29.414:45:00+□1938.0+□□□52.5+□□□□52.7+□□□72.713:23:00+□□□□39.613:45:
00+□3262.0+□□□42.5+□□□□42.7+□□□62.713:23:00+□□□□39.613:45:00+□2562.0

（3）要求：01000MHS037200NEXT

応答：0100OK037200X

（1）99／07／16　15：00：00のデータ
（2）99／07／16　14：00：00のデータ
（3）データの終了

ユニット3（入出力コード29）の二次周期データ（99年7月10日の10時のデータ）を読み込む。

（1）要求：01000MHS037200□001□□010300990710100000

応答：0100OK037200X990710100000□□010300□□□□LLLL□□□□0010□□□□0008
+□□□□□12+□□□□256+□□□□□10+□□□□338+□□□□□11+□□□□127
+□□□□□19+□□□□218

（2）要求：01000MHS037200NEXT

応答：0100OK037200X

（1）99／07／10　10：00：00のデータ
（2）データの終了

関連データ

二次周期記録周期（1202）

3.13 パラメータ操作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 パラメータ操作	**データ番号**	0501
	データ分類	設定パラメータ
		全体構成
	データ型	選択型
	参照	不可
	設定	STOP

説明

設定パラメータの設定値を不揮発メモリに保存したり，保存値を現在値に反映します。
設定パラメータを変更しても不揮発メモリへの保存をしなかった場合，電源断により変更した値は失われます。

パラメータ保存は以下のデータを選択することにより，それぞれの操作を開始します。

選択番号	データ値	説明	
01	SAVE□□□□	現在値保存	現在値を不揮発メモリに保存します。
02	RESET□□□	保存値読込	保存値を現在値に反映します。
03	INIT□□□□	初期値読込	初期値（工場出荷時の値）を現在値に反映する。

T031301.EPS

プロトコル

現在値を不揮発メモリへ保存する。
要求：01000JXS050101
応答：0100OK0501013SAVE□□□□

現在値を初期値（工場出荷時の値）に初期化する。
要求：01000JXS050103
応答：0100OK0501033INIT□□□□

関連データ

3.14 スタートアップモード

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0502
データ分類	設定パラメータ
	全体構成
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

スタートアップモード

説明

TN10のスタートアップ時の動作モードを定義します。

スタートアップモードは，以下の2種から選択し，初期値は「STOP状態」です。

選択番号	データ値	説明	
01	STOP□□□□	STOP状態	スタートアップ後，動作モードをSTOP状態とします。
02	RUN□□□□□	RUN状態	スタートアップ後，動作モードをRUN状態とします。停電などにより再スタートが行われたとき，自動的に測定を再開します。

T031401.EPS

プロトコル

スタートアップモード（STOP状態）を読み込む。
要求：01000JXH050200
応答：0100OK0502003STOP□□□□

スタートアップモード（RUN状態）を書き込む。
要求：01000JXS050202
応答：0100OK0502023RUN□□□□□

関連データ

動作モード（0301），RUN発報動作（0507）

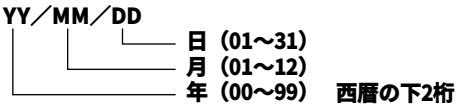
3.15 日付

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 日付	**データ番号**	0503
	データ分類	設定パラメータ
		全体構成
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10の日付を定義します。

日付の表現形式は以下のとおりです。



F031501.EPS

プロトコル

日付（1999年06月24日）を読み込む。
要求：01000JXH050300
応答：0100OK050300399/06/24

日付（2000年1月1日）を書き込む。
要求：01000JXW05030000/01/01
応答：0100OK050300300/01/01

関連データ

時刻（0504）

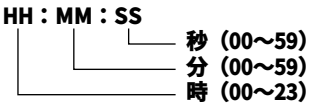
3.16 時刻

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 時刻	**データ番号**	0504
	データ分類	設定パラメータ
		全体構成
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10の時刻を定義します。

時刻の表現形式は以下のとおりです。



F031601.EPS

プロトコル

時刻（23時45分56秒）を読み込む。
要求：01000JXH050400
応答：0100OK050400323:45:56

時刻（00時00分00秒）を書き込む。
要求：01000JXW05040000:00:00
応答：0100OK050400300:00:00

関連データ

日付（0503）

3.17 局名

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 局名	**データ番号**	0505～0506
	データ分類	設定パラメータ 全体構成
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10の局名を定義します。TN10を認識するのに使用するため，同一名の局が存在しないように割り付けます。
局名は英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大16文字の文字列です。16文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。
データ0505で先頭の8文字を，データ0506で残りの8文字を指定します。

［例］局名が「TN10」の場合
データ0505＝“TN10□□□□”
データ0506＝“□□□□□□□□”

プロトコル

局名（TN10）を読み出す。
要求：01000JXH050500
応答：0100OK0505003TJ10
要求：01000JXH050600
応答：0100OK0506003 1 □□□□□□

局名（TN10）を書き込む。
要求：01000JXW050500 TN10□□□□
応答：0100OK0505003 TN10□□□□
要求：01000JXW050600□□□□□□□□
応答：0100OK0506003□□□□□□□□

関連データ

3.18 RUN発報動作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 RUN発報動作	**データ番号**	0507
	データ分類	設定パラメータ
		全体構成
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10の動作モードがSTOP状態からRUN状態に変更された時のシステム警報発報動作を定義します。

RUN発報動作は，以下の2種から選択し，初期値は「有効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	STOP状態からRUN状態への変更時に，システム警報を発報しない。
02	ENABLE□□	有効	STOP状態からRUN状態への変更時に，システム警報を発報する。

T031801.EPS

プロトコル

RUN発報動作（無効）を読み込む。
要求：01000JXH050700
応答：0100OK0507003DISABLE□

RUN発報動作（有効）を書き込む。
要求：01000JXS050702
応答：0100OK0507023ENABLE□□

関連データ

動作モード（0301），スタートアップモード（0502）

3.19 ダイヤル方式

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0601
データ分類	設定パラメータ
	通信条件
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

ダイヤル方式

説明

電話回線のダイヤル方式を定義します。
ダイヤル方式は以下の2種から選択し，初期値は「トーン式」です。

選択番号	データ値	説明
01	PULSE□□□	パルス式
02	TONE□□□□	トーン式（プッシュホン式）

T031901.EPS

プロトコル

ダイヤル方式（パルス式）を読み出す。
要求：01000JXH060100
応答：0100OK0601003PULSE□□□

ダイヤル方式（トーン式）を書き込む。
要求：01000JXS060102
応答：0100OK0601023TONE□□□□

関連データ

電話回線種類（0602）

3.20 電話回線種類

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 電話回線種類	**データ番号**	0602
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

電話回線が接続されている種類を定義します。
電話回線種類は以下の2種から選択し，初期値は「一般公衆回線」です。

選択番号	データ値	説明
01	DIRECT□□	一般公衆回線
02	PBX□□□□□	構内PBX

T032001.EPS

プロトコル

電話回線種類を読み出す。
要求：01000JXH060200
応答：0100OK0602003NTT□□□□□

電話回線種類（構内PBX）を書き込む。
要求：01000JXS060202
応答：0100OK0602023PBX□□□□□

関連データ

ダイヤル方式（0601）

3.21 モデムイニシャライズコマンド

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 モデムイニシャライズコマンド	**データ番号**	0611～18
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10で使用するモデムに合ったイニシャライズコマンドを定義します。

イニシャライズコマンドには，つぎに示す項目を定義する必要があります。
- コマンドエコー　：無し
- 自動着信　：1回
- フロー制御　：なし
- CD信号制御　：相手モデムのキャリアに従う
- ER信号制御　：ER　ON→OFFで回線断
- DR信号制御　：常時ON
- リザルトコード表示形式　：単語形式
- ビジーダイヤルトーン検出　：NTT回線時検出　PBX使用時検出なし

オムロン社製　ME5614Eの例
AT&FE0S0＝1&K0X4＋MS＝11，1，2400，9600

モデムイニシャライズは最大64文字の文字列です。64文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

プロトコル

モデムイニシャライズ（AT）を読み出す。
要求：01000JXH061100
応答：0100OK0611003AT□□□□□□

モデムイニシャライズ（ATS0=0E1）を書き込む。
要求：01000JXW061100ATS0=0E1
応答：0100OK0611003ATS0=0E1

関連データ

3.22 セキュリティ動作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0620
セキュリティ動作	**データ分類**	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

親局からTN10に回線接続する場合のセキュリティの有無を定義します。

セキュリティ動作は以下の2種から選択し，初期値は「無効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	パスワードなし
02	ENABLE□□	有効	パスワード有り

T032301.EPS

プロトコル

セキュリティ動作（無効）を読み出す。
要求：01000JXH062000
応答：0100OK0620003DISABLE□

セキュリティ動作（有効）を書き込む。
要求：01000JXS062002
応答：0100OK0620023ENABLE□□

関連データ

パスワード照合（0310），パスワード（0621），再照合回数（0622），照合監視時間（0623）

3.23 パスワード

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 パスワード	**データ番号**	0621
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

セキュリティ動作有効時のパスワードを定義します。
パスワードは，英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

プロトコル

パスワード（ABCD）を読み出す。
要求：01000JXH062100
応答：0100OK0621003ABCD□□□□

パスワード（XYZ123）を書き込む。
要求：01000JXW062100XYZ123□□
応答：0100OK0621003XYZ123□□

関連データ

パスワード照合（0310），セキュリティ動作（0620），再照合回数（0622），照合監視時間（0623）

3.24 再照合回数

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 再照合回数	**データ番号**	0622
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

パスワード照合で，誤ったパスワードを照合した時の再試行回数を定義します。再照合回数内で正しいパスワードを照合しなかった場合には，TN10は電話回線を強制的に切断します。
再照合回数は「0」～「255」回で，初期値は「2」回です。

プロトコル

再照合回数（3回）を読み出す。
要求：01000JXH062200
応答：0100OK0622003□□□□□□□3

再照合回数（12回）を書き込む。
要求：01000JXW062200□□□□□□12
応答：0100OK0622003□□□□□□12

関連データ

パスワード照合（0310），セキュリティ動作（0620)，パスワード（0621），照合監視時間（0623）

3.25 照合監視時間

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 照合監視時間	**データ番号**	0623
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

パスワード照合で，正しいパスワードを照合するまでの監視時間を定義します。照合監視時間内に正しいパスワードを照合しなかった場合には，TN10は電話回線を強制的に切断します。
照合監視時間は「1」～「3600」秒で，初期値は「60」秒です。

プロトコル

照合監視時間（60秒）を読み出す。
要求：01000JXH062300
応答：0100OK0623003□□□□□□60

照合監視時間（30秒）を書き込む。
要求：01000JXW062300□□□□□□30
応答：0100OK0623003□□□□□□30

関連データ

パスワード照合（0310），セキュリティ動作（0620），パスワード（0621），再照合回数（0622）

3.26 リダイヤル回数

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 リダイヤル回数	**データ番号**	0631
	データ分類	設定パラメータ 通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10から親局への回線接続が失敗した場合，同一親局にリダイヤルする回数を定義します。
リダイヤル回数は「0」～「255」回で，初期値は「2」回です。

プロトコル

リダイヤル回数（3回）を読み出す。
要求：01000JXH063100
応答：0100OK0631003□□□□□□□3

リダイヤル回数（12回）を書き込む。
要求：01000JXW063100□□□□□□12
応答：0100OK0631003□□□□□□12

関連データ

発報要因（0320），発報受信確認（0321），リダイヤル間隔（0632）

3.27 リダイヤル間隔

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 リダイヤル間隔	**データ番号**	0632
	データ分類	設定パラメータ 通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10から親局への回線接続が失敗した場合，同一親局にリダイヤルするまでの間隔を定義します。
リダイヤル間隔は「60」～「3600」秒で，初期値は「60」秒です。

プロトコル

リダイヤル間隔（60秒）を読み出す。
要求：01000JXH063200
応答：0100OK0632003□□□□□□60

リダイヤル間隔（90秒）を書き込む。
要求：01000JXW063200□□□□□□90
応答：0100OK0632003□□□□□□90

関連データ

発報要因（0320），発報受信確認（0321），リダイヤル回数（0631）

3.28 再発報回数

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 再発報回数	**データ番号**	0633
	データ分類	設定パラメータ
		通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

TN10から親局への回線接続がリダイアル回数失敗した場合，親局を切り換え回数を定義します。
再発報回数は「0」～「255」回で，初期値は「3」回です。

プロトコル

再発報回数（3回）を読み込む。
要求：01000JXH063300
応答：0100OK0633003□□□□□□□3

再発報回数（12回）を書き込む。
要求：01000JXW063300□□□□□□12
応答：0100OK0633003□□□□□□12

関連データ

発報要因（0320），発報受信確認（0321），リダイヤル回数（0631），リダイヤル間隔（0632）

3.29 メッセージ再送信回数

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 メッセージ再送信回数	**データ番号**	0641
	データ分類	設定パラメータ 通信条件
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

警報検出時に，メッセージを再送信する回数を定義します。
メッセージ再送信回数は，「0」～「255」回で，初期値は「0」回です。

複数の送信先にメッセージを送信する場合，次のような計算式になります。
　メッセージ再送信回数＝（送信先数×1送信先に送信する回数）－1

プロトコル

ポケ再発報回数（3回）を読み出す。
要求：01000JXH064100
応答：0100OK0641003□□□□□□□3

ポケ再発報回数（12回）を書き込む。
要求：01000JXW064100□□□□□□12
応答：0100OK0641003□□□□□□12

関連データ

メッセージ送信動作（0721），第1メッセージ送信先（0730～0733），
第2メッセージ送信先（0734～0737），第3メッセージ送信先（0738～0741）

3.30 警報発報動作

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0701
データ分類	設定パラメータ
	警報発報
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

警報発報動作

説明

警報発報の有無を定義します。
警報発報の動作は以下の3種から選択し，初期値は「発生と復帰」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	警報発報を行わない
02	ALARM□□□	発生のみ	警報の発生のみ警報発報を行う
03	CHANGE□□	発生と復帰	警報の発生と復帰時に警報発報を行う

T033101.EPS

プロトコル

警報発報動作（無効）を読み出す。
要求：01000JXH070100
応答：0100OK0701003DISABLE□

警報発報動作（発生のみ）を書き込む。
要求：01000JXS070102
応答：0100OK0701023ALARM□□□

関連データ

新規警報（0366），第1警報発報先（0702～0705），第2警報発報先（0706～0709）
第3警報発報先（0710～0713），警報発報終了条件（0720）

3.31 （第1～第3）警報発報先

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0702～0705，0706～0709，0710～0713
（第1～第3）警報発報先	**データ分類**	設定パラメータ
		警報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

警報発報する親局の電話番号を定義します。
警報発報先として最大3ヶ所まで定義できます。最初に第1警報発報先へ発報し，発報受信確認されなかった場合には，第2警報発報先，第3警報発報先の順に発報先を切り換えます。
（警報発報終了条件が全局確認の場合，全局から発報受信確認されるまで発報を繰り返します。）

警報発報先は数字等（“0”～“9”，“，”，“-”）から構成される最大32文字の文字列です。
“，”は1文字で3秒間のポーズをつくります。“-”は電話番号を見やすくします。32文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。「未定義」の場合には，全てスペースとします。
警報発報先の初期値は，すべて「未定義」です。
［例］警報発報先が「012-345-6789」の場合
データ0702＝“012-345-”
データ0703＝“6789□□□□”
データ0704＝“□□□□□□□□”
データ0705＝“□□□□□□□□”

プロトコル

警報発報先（012-345-6789）を書き込む。
要求：01000JXW070200012-345-
応答：0100OK0702003012-345-
要求：01000JXW0703006789□□□□
応答：0100OK07030036789□□□□
要求：01000JXW070400□□□□□□□□
応答：0100OK0704003□□□□□□□□
要求：01000JXW070500□□□□□□□□
応答：0100OK0705003□□□□□□□□

関連データ

新規警報（0366），警報発報動作（0701），警報発報終了条件（0720）

3.32 警報発報終了条件

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 警報発報終了条件	データ番号	0720
	データ分類	設定パラメータ 警報発報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

警報発報先に登録されている親局から発報受信確認を任意の1局で発報を終了するか，全局から発報受信確認がされてから警報発報を終了するかを定義します。

警報発報終了条件は以下の2種から選択し，初期値は「1局確認で終了」です。

選択番号	データ値	説明	
01	ANY□□□□□	1局確認で終了	任意の親局1局に発報受信確認されれば，発報を終了する。
02	ALL□□□□□	全局確認で終了	親局全局に発報受信確認されなければ，発報を終了しない。

T033301.EPS

プロトコル

警報発報終了条件（1局確認で終了）を読み込む。
要求：01000JXH072000
応答：0100OK0720003ANY□□□□□

警報発報終了条件（全局確認で終了）を書き込む。
要求：01000JXS072002
応答：0100OK0720023ALL□□□□□

関連データ

新規警報（0366），警報発報動作（0701），第1警報発報先（0702～0705），
第2警報発報先（0706～0709），第3警報発報先（0710～0713）

3.33 メッセージ送信動作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 メッセージ送信動作	**データ番号**	0721
	データ分類	設定パラメータ 警報発報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ポケベル，携帯電話，またはPHSへのメッセージ送信の有無を定義します。
メッセージ送信動作は以下の3種から選択し，初期値は「無効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	メッセージ送信を行わない
02	ALARM□□□	発生のみ	警報の発生のみメッセージ送信を行う
03	CHANGE□□	発生と復帰	警報の発生と復帰時にメッセージ送信を行う

T033401.EPS

プロトコル

メッセージ送信動作（無効）を読み出す。
要求：01000JXH072100
応答：0100OK0721003DISABLE□

メッセージ送信動作（発生のみ）を書き込む。
要求：01000JXS072102
応答：0100OK0721023ALARM□□□

関連データ

メッセージ再送信回数（0641），第1メッセージ送信（0730～0733）
第2メッセージ送信（0734～0737），第3メッセージ送信（0738～0741）
メッセージセンタ番号（0742～0745），メッセージ送信先タイプ（0750）
システムスタートメッセージ（0761～68）

3.34 （第1～第3）メッセージ送信先

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0730～0733，0734～0737，0738～0741
（第1～第3）メッセージ送信先	**データ分類**	設定パラメータ
		警報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

メッセージを送信するポケベル，携帯電話，またはPHSの電話番号を定義します。
メッセージ送信先として最大3つの電話番号を定義できます。メッセージ送信時には，定義されている全ての送信先にメッセージを送信します。

メッセージ送信先は数字等（“0”～“9”，“，”，“-”）から構成される最大32文字の文字列です。“，”は1文字で3秒間のポーズをつくります。“-”は電話番号を見やすくします。32文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）にします。メッセージ送信先を定義しない場合には，全てスペースを定義します。
データ0730～0733で第1メッセージ送信先を，データ0734～0737でメッセージ送信先を，データ0738～0741で第3メッセージ送信先を定義します。

［例］第1メッセージ送信先が「012-345-6789」の場合
データ0730＝“012-345-”
データ0731＝“6789□□□□”
データ0732＝“□□□□□□□□”
データ0733＝“□□□□□□□□”

プロトコル

第1ポケ通報先（012-345-6789）を書き込む。
要求：01000JXW073000012-345-
応答：0100OK0730003012-345-
要求：01000JXW0731006789□□□□
応答：0100OK07310036789□□□□
要求：01000JXW073200□□□□□□□□
応答：0100OK0732003□□□□□□□□
要求：01000JXW073300□□□□□□□□
応答：0100OK0733003□□□□□□□□

関連データ

メッセージ再送信回数（0641），メッセージ送信動作（0721），メッセージセンタ番号（0742～0745）
メッセージ送信先タイプ（0750），システムスタートメッセージ（0761～68）

3.35 メッセージセンタ番号

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 メッセージセンタ番号	**データ番号**	0742～0745
	データ分類	設定パラメータ 警報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

メッセージ送信先タイプが，漢字ポケベル，携帯電話，またはPHSの場合，メッセージ預かりを行うセンタの番号を定義します。
メッセージセンタの電話番号は，メッセージ通信先タイプと使用地域により異なりますので，最寄のNTT DoCoMoにお問い合わせてご確認ください。

メッセージセンタ番号は数字等（“0”～“9”，“，”，“-”）から構成される最大32文字の文字列です。“，”は1文字で3秒間のポーズをつくります。“-”は電話番号を見やすくします。32文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）にします。

［例］メッセージセンタ番号が「012-345-6789」の場合
データ0742＝“012-345-”
データ0743＝“6789□□□□”
データ0744＝“□□□□□□□□”
データ0745＝“□□□□□□□□”

プロトコル

ポケセンタ番号（012-345-6789）を書き込む。
要求：01000JXW074200012-345-
応答：0100OK0742003012-345-
要求：01000JXW0743006789□□□□
応答：0100OK07430036789□□□□
要求：01000JXW074400□□□□□□□□
応答：0100OK0744003□□□□□□□□
要求：01000JXW074500□□□□□□□□
応答：0100OK0745003□□□□□□□□

関連データ

メッセージ再送信回数（0641），メッセージ送信動作（0721），第1メッセージ送信（0730～0733）
第2メッセージ送信（0734～0737），第3メッセージ送信（0738～0741）
メッセージ送信先タイプ（0750），システムスタートメッセージ（0761～68）

3.36 メッセージ送信先タイプ

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0750
データ分類	設定パラメータ
	警報発報
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

メッセージ送信先タイプ

説明

メッセージ送信先のタイプを定義します。
メッセージ送信先タイプは以下の4種から選択し，初期値は「通常ポケベル」です。

選択番号	データ値	説明	
01	POCKETBELL	通常ポケベル	通常ポケベルにメッセージを送信する。
02	INFONEXT	漢字ポケベル	インフォネクスト対応のポケベルにメッセージを送信する。
03	CELLULAR	携帯電話	携帯電話にメッセージを送信する。
04	PHS□□□□□	PHS	PHSにメッセージを送信する。

T033701.EPS

注　意

メッセージ送信先には，NTT DoCoM製品をご使用ください。
また，携帯電話ではショートメールサービス，PHSではきゃらメールの契約が必要です。

プロトコル

メッセージを送信先（携帯電話）を読み出す。
要求：01000JXH075000
応答：0100OK0750003CELLULAR

メッセージを送信先（PHS）を書き込む。
要求：01000JXS075004
応答：0100OK0750023PHS□□□□□

関連データ

メッセージ再送信回数（0641），メッセージ送信動作（0721），第1メッセージ送信（0730～0733）
第2メッセージ送信（0734～0737），第3メッセージ送信（0738～0741）
メッセージセンタ番号（0742～0745），システムスタートメッセージ（0761～68）

3.37 システムスタートメッセージ

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0761～0768
システムスタートメッセージ	**データ分類**	設定パラメータ
		警報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

メッセージ送信でシステムがスタートした時に送信するメッセージを定義します。
システムスタートメッセージは最大64文字の文字列です。有効文字が64文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。初期値は，すべて“□”（スペース）です。

プロトコル

システムスタートメッセージ（SYSTEM□START）を書き込む。

要求：01000JXW076100SYSTEM□S
応答：0100OK0761003SYSTEM□□
要求：01000JXW076200TART□□□□
応答：0100OK0762003TART□□□□
要求：01000JXW076300□□□□□□□□
応答：0100OK0763003□□□□□□□□
要求：01000JXW076400□□□□□□□□
応答：0100OK0764003□□□□□□□□
要求：01000JXW076500□□□□□□□□
応答：0100OK0765003□□□□□□□□
要求：01000JXW076600□□□□□□□□
応答：0100OK0766003□□□□□□□□
要求：01000JXW076700□□□□□□□□
応答：0100OK0767003□□□□□□□□
要求：01000JXW076800□□□□□□□□
応答：0100OK0768003□□□□□□□□

関連データ

メッセージ再送信回数（0641），メッセージ送信動作（0721），第1メッセージ送信（0730～0733）
第2メッセージ送信（0734～0737），第3メッセージ送信（0738～0741）
メッセージセンタ番号（0742～0745），メッセージ送信先タイプ（0750）

3.38 定時発報動作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0801
定時発報動作	**データ分類**	設定パラメータ
		定時発報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

親局への定時発報の有無を定義します。

定時発報動作は，以下の2種から選択し，初期値は「無効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	定時発報を行わない
02	ENABLE□□	有効	定時発報を行う

T033901.EPS

プロトコル

定時発報動作（無効）を読み込む。
要求：01000JXH080100
応答：0100OK0801003DISABLE□

定時発報動作（有効）を書き込む。
要求：01000JXS080102
応答：0100OK0801023ENABLE□□

関連データ

定時処理データ（0370），第1定時発報先（0802～0805），第2定時発報先（0806～0809）
第3定時発報先（0810～0813），定時発報終了条件（0820），定時発報遅延時間（0830）
第1定時処理時刻（0831），・・・，第24定時処理時刻（0854）

3.39 （第1～第3）定時発報先

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0802～0805，0806～0809，0810～0813
（第1～第3）定時発報先	**データ分類**	設定パラメータ
		定時発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

定時発報する親局の電話番号を定義します。
定時発報先として最大3ヶ所まで定義できます。最初に第1定時発報先へ発報し，発報受信確認されなかった場合には，第2定時発報先，第3定時発報先の順に発報先を切り換えます。
（定時発報終了条件が全局確認の場合，全局から発報受信確認されるまで発報を繰り返します。）

定時発報先は数字等（“0”～“9”，“，”，“-”）から構成される最大32文字の文字列です。“，”は1文字で3秒間のポーズをつくります。“-”は電話番号を見やすくします。32文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。定時発報先を定義しない場合には，全てスペースを定義します。
データ0802～0805で第1定時発報先を，データ0806～0809で第2定時発報先を，データ0810～0813で第3定時発報先を定義します。

［例］第1定時発報先が「012-345-6789」の場合
データ0802＝“012-345-”
データ0803＝“6789□□□□”
データ0804＝“□□□□□□□□”
データ0805＝“□□□□□□□□”

プロトコル

第1定時発報先（012-345-6789）を書き込む。
要求：01000JXW080200012-345-
応答：0100OK0802003012-345-
要求：01000JXW0803006789□□□□
応答：0100OK08030036789□□□□
要求：01000JXW080400□□□□□□□□
応答：0100OK0804003□□□□□□□□
要求：01000JXW080500□□□□□□□□
応答：0100OK0805003□□□□□□□□

関連データ

定時処理データ（0370），定時発報動作（0801），定時発報終了条件（0820）
定時発報遅延時間（0830），第1定時処理時刻（0831），・・・，第24定時処理時刻（0854）

3.40 定時発報終了条件

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	0820
データ分類	設定パラメータ
	定時発報
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

定時発報終了条件

説明

定時発報先に登録されている親局から発報受信確認を任意の1局で発報を終了するか，全局から発報受信確認がされてから定時発報を終了するかを定義します。

定時発報終了条件は以下の2種から選択し，初期値は「1局確認で終了」です。

選択番号	データ値	説明	
01	ANY□□□□□	1局確認で終了	任意の親局1局に発報受信確認されれば，発報を終了する。
02	ALL□□□□□	全局確認で終了	親局全局に発報受信確認されなければ，発報を終了しない。

T033301.EPS

プロトコル

定時発報終了条件（1局確認で終了）を読み込む。
要求：01000JXH082000
応答：0100OK0820003ANY□□□□□

定時発報終了条件（全局確認で終了）を書き込む。
要求：01000JXS082002
応答：0100OK0820023ALL□□□□□

関連データ

定時処理データ（0370），定時発報動作（0801），第1定時発報先（0802～0805）
第2定時発報先（0806～0809），第3定時発報先（0810～0813），定時発報遅延時間（0830）
第1定時処理時刻（0831），・・・，第24定時処理時刻（0854）

3.41 定時発報遅延時間

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 定時発報遅延時間	**データ番号**	0830
	データ分類	設定パラメータ 定時発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

定時処理時刻から定時発報を行うまでの遅延時間を定義します。
複数のTN10から定時発報が同時に行われないように，TN10毎に発報時刻をずらします。

定時発報遅延時間は「0」～「3600」秒で，初期値は「0」秒です。

プロトコル

定時発報遅延時間（0秒）を読み込む。
要求：01000JXH083000
応答：0100OK0830003□□□□□□□0

定時発報遅延時間（120秒）を書き込む。
要求：01000JXW083000□□□□□120
応答：0100OK0830003□□□□□120

関連データ

定時処理データ（0370），定時発報動作（0801），第1定時発報先（0802～0805）
第2定時発報先（0806～0809），第3定時発報先（0810～0813），定時発報終了条件（0820）
第1定時処理時刻（0831），・・・，第24定時処理時刻（0854）

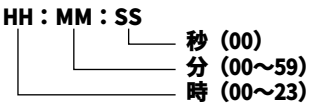
3.42 （第1～第24）定時処理時刻

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0831～0854
（第1～第24）定時処理時刻	**データ分類**	設定パラメータ
		定時発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

定時処理を実行する時刻を定義します。最大24個の処理時刻を定義できます。

定時処理時刻の表現形式は以下のとおりです。「未定義」の場合には全てスペースとします。
すべての定時処理時刻の初期値は「未定義」です。



F034301.EPS

プロトコル

第1定時処理時刻（1時23分0秒）を書き込む。
要求：01000JXW08310001:23:00
応答：0100OK083100301:23:00

第3定時処理時刻（未定義）を書き込む。
要求：01000JXW083300□□□□□□□□
応答：0100OK0833003□□□□□□□□

関連データ

定時処理データ（0370），定時発報動作（0801），第1定時発報先（0802～0805）
第2定時発報先（0806～0809），第3定時発報先（0810～0813），定時発報終了条件(0820)
定時発報遅延時間（0830）

3.43 日報発報動作

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 日報発報動作	**データ番号**	0901
	データ分類	設定パラメータ 日報発報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

親局への日報発報の有無を定義します。

日報発報動作は，以下の2種から選択し，初期値は「無効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	DISABLE□	無効	日報発報を行わない
02	ENABLE□□	有効	日報発報を行う

T034401.EPS

プロトコル

日報発報動作（無効）を読み込む。
要求：01000JXH090100
応答：0100OK0901003DISABLE□

日報発報動作（有効）を書き込む。
要求：01000JXS090102
応答：0100OK0901023ENABLE□□

関連データ

第1日報発報先（0902～0905），第2日報発報先（0906～0909），第3日報発報先（0910～0913）
日報発報終了条件（0920），日報発報遅延時間（0930），日報処理時刻（0931）

3.44 （第1～第3）日報発報先

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0902～0805，0906～0809，0910～0913
（第1～第3）日報発報先	**データ分類**	設定パラメータ
		日報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

日報発報する親局の電話番号を定義します。
日報発報先として最大3ヶ所まで定義できます。最初に第1日報発報先へ発報し，発報受信確認されなかった場合には，第2日報発報先，第3日報発報先の順に発報先を切り換えます。
（日報発報終了条件が全局確認の場合，全局から発報受信確認されるまで発報を繰り返します。）

日報発報先は数字等（“0”～“9”，“，”，“-”）から構成される最大32文字の文字列です。“，”は1文字で3秒間のポーズをつくります。“-”は電話番号を見やすくします。32文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。日報発報先を定義しない場合には，全てスペースを定義します。
データ番号0902～0905で第1日報発報先を，データ番号0906～0909で第2日報発報先を，データ番号0910～0913で第3日報発報先を定義します。

［例］第1日報発報先が「012-345-6789」の場合
データ0902＝“012-345-”
データ0903＝“6789□□□□”
データ0904＝“□□□□□□□□”
データ0905＝“□□□□□□□□”

プロトコル

第1日報発報先（012-345-6789）を書き込む。
要求：01000JXW090200012-345-
応答：0100OK0902003012-345-
要求：01000JXW0903006789□□□□
応答：0100OK09030036789□□□□
要求：01000JXW090400□□□□□□□□
応答：0100OK0904003□□□□□□□□
要求：01000JXW090500□□□□□□□□
応答：0100OK0905003□□□□□□□□

関連データ

日報発報動作（0901），日報発報終了条件（0920），日報発報遅延時間（0930）
日報処理時刻（0931）

3.45 日報発報終了条件

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0920
日報発報終了条件	**データ分類**	設定パラメータ
		日報発報
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

日報発報先に登録されている親局から発報受信確認を任意の1局で発報を終了するか，全局から発報受信確認がされてから日報発報を終了するかを定義します。

日報発報終了条件は以下の2種から選択し，初期値は「1局確認で終了」です。

選択番号	データ値	説明	
01	ANY□□□□□	1局確認で終了	任意の親局1局に発報受信確認されれば，発報を終了する。
02	ALL□□□□□	全局確認で終了	親局全局に発報受信確認されなければ，発報を終了しない。

T033301.EPS

プロトコル

日報発報終了条件（1局確認で終了）を読み込む。
要求：01000JXH092000
応答：0100OK0920003ANY□□□□□

日報発報終了条件（全局確認で終了）を書き込む。
要求：01000JXS092002
応答：0100OK0920023ALL□□□□□

関連データ

日報発報動作（0901），第1日報発報先（0902～0905），第2日報発報先（0906～0909）
第3日報発報先（0910～0913），日報発報遅延時間（0930），日報処理時刻（0931）

3.46 日報発報遅延時間

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 日報発報遅延時間	**データ番号**	0930
	データ分類	設定パラメータ 日報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

日報処理時刻から日報発報を行うまでの遅延時間を定義します。
複数のTN10から日報発報が同時に行われないように，TN10毎に発報時刻をずらします。

日報発報遅延時間は「0」～「3600」秒で，初期値は「0」秒です。

プロトコル

日報発報遅延時間（0秒）を読み込む。
要求：01000JXH093000
応答：0100OK0930003□□□□□□□0

日報発報遅延時間（120秒）を書き込む。
要求：01000JXW093000□□□□□120
応答：0100OK0930003□□□□□120

関連データ

日報発報動作（0901），第1日報発報先（0902～0905），第2日報発報先（0906～0909）
第3日報発報先（0910～0913），日報発報終了条件（0920），日報処理時刻（0931）

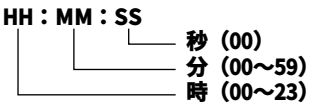
3.47 日報処理時刻

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称 日報処理時刻	**データ番号**	0831
	データ分類	設定パラメータ
		日報発報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

日報処理を実行する時刻を定義します。

日報処理時刻の表現形式は以下のとおりです。「未定義」の場合には全てスペースとします。
すべての日報処理時刻の初期値は「未定義」です。



F034301.EPS

プロトコル

日報処理時刻（1時23分0秒）を書き込む。
要求：01000JXW09310001:23:00
応答：0100OK093100301:23:00

日報処理時刻（未定義）を書き込む。
要求：01000JXW093100□□□□□□□□
応答：0100OK0931003□□□□□□□□

関連データ

日報発報動作（0901），第1日報発報先（0902～0905），第2日報発報先（0906～0909）
第3日報発報先（0910～0913），日報発報終了条件（0920），日報発報遅延時間（0930）

3.48 一次周期記録周期

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	1102
データ分類	設定パラメータ 一次周期
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

一次周期記録周期

説明

一次周期記録の動作周期を定義します。

一次周期記録周期は以下の6種から選択し，初期値は「1」分です。周期により一次周期記録の記録期間が決定します。

選択番号	データ値	説明	
01	1□□□□□□	1分	記録期間：3時間
02	2□□□□□□	2分	記録期間：6時間
03	5□□□□□□	5分	記録期間：15時間
04	10□□□□□□	10分	記録期間：30時間
05	30□□□□□□	30分	記録期間：90時間
06	60□□□□□□	60分	記録期間：180時間

T034901.EPS

プロトコル

一次周期記録周期（1分）を読み込む。
要求：01000JXH110200
応答：0100OK11020031□□□□□□

一次周期記録周期（10分）を書き込む。
要求：01000JXS110204
応答：0100OK110204310□□□□□□

関連データ

一次周期データ（0346）

3.49 二次周期記録周期

入出力コード	ユニット共有データ
データ番号	1202
データ分類	設定パラメータ 二次周期
データ型	選択型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

二次周期記録周期

説明

二次周期記録の動作周期を定義します。

二次周期記録周期は以下の6種から選択し，初期値は「1」時間です。周期により二次周期記録の記録期間が決定します。

選択番号	データ値	説明	
01	1□□□□□□	1時間	記録期間：1ヶ月
02	2□□□□□□	2時間	記録期間：2ヶ月
03	3□□□□□□	3時間	記録期間：3ヶ月
04	6□□□□□□	6時間	記録期間：6ヶ月
05	12□□□□□□	12時間	記録期間：1年
06	24□□□□□□	24時間	記録期間：2年

T035001.EPS

プロトコル

二次周期記録周期（1時間）を読み込む。
要求：01000JXH120200
応答：0100OK12020031□□□□□□

二次周期記録周期（24時間）を書き込む。
要求：01000JXS120206
応答：0100OK120206324□□□□□□

関連データ

二次周期データ（0347）

Blank Page

4. ユニット固有データ構成

ユニット固有データは，各ユニットで独立するデータです。
入出力コートによりアクセスできるデータが異なりますので注意してください。

表　ユニット固有コマンド構成（その1）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
操業データ	識別情報	00	01	形名	8文字			R
			02	入出力コード	8文字			R
			13	自己診断結果	正常／異常			R
	構成情報	03	17	立ち上げ状態	立ち上げ状態			R
			18	ファームRev	□□nn.nnn			R
			20	メニューRev	□□nn.nnn			R
	操業情報	03	01	アナログ入力値1	−12.5〜112.5	%		R
			02	アナログ入力値2	−12.5〜112.5	%		R
			03	アナログ入力値3	−12.5〜112.5	%		R
			04	アナログ入力値4	−12.5〜112.5	%		R
			05	アナログ出力値1	−12.5〜112.5	%		RW
			06	アナログ出力値2	−12.5〜112.5	%		RW
			07	アナログ出力値3	−12.5〜112.5	%		RW
			08	アナログ出力値4	−12.5〜112.5	%		RW
			32	接点入力状態	チャネル毎に H状態／L状態			R
			33	接点入力積算値1	0000〜FFFF			RW
			34	接点入力積算値2	0000〜FFFF			RW
			35	接点入力積算値3	0000〜FFFF			RW
			36	接点入力積算値4	0000〜FFFF			RW
			41	接点出力1	H状態／L状態		H状態	RW
			42	接点出力2	H状態／L状態		H状態	RW
			43	接点出力3	H状態／L状態		H状態	RW
			44	接点出力4	H状態／L状態		H状態	RW
			45	接点出力5	H状態／L状態		H状態	RW
			46	接点出力6	H状態／L状態		H状態	RW
			47	接点出力7	H状態／L状態		H状態	RW
			48	接点出力8	H状態／L状態		H状態	RW

T040001.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット固有コマンド構成（その2）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
操業データ	操業情報	03	51	パルス出力1	出力開始			W
			52	パルス出力2	出力開始			W
			53	パルス出力3	出力開始			W
			54	パルス出力4	出力開始			W
			55	パルス出力5	出力開始			W
			56	パルス出力6	出力開始			W
			57	パルス出力7	出力開始			W
			58	パルス出力8	出力開始			W
			59	警報検出状態	正常／警報状態			R
設定パラメータ	ユニット	04	01	ユニットタグ番号	8文字		未定義	RW
			03～04	ユニットコメント	16文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル1	05	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			03	積算方式	エッジ		エッジ	RW
					時間			
			08	警報検出条件	H状態警報		H状態警報	RW
					L状態警報			
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効		無効	RW
					有効			
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル2	06	01	チャネルタグ	8文字		未定義	RW
			03	積算方式	エッジ		エッジ	RW
					時間			
			08	警報検出条件	H状態警報		H状態警報	RW
					L状態警報			
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効		無効	RW
					有効			
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW

T040002.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット固有コマンド構成（その3）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	ディジタル入力チャネル3	07	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			03	積算方式	エッジ 時間		エッジ	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル4	08	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			03	積算方式	エッジ 時間		エッジ	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル5	09	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW

T040003.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット固有コマンド構成（その4）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	ディジタル入力チャネル6	10	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル7	11	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	ディジタル入力チャネル8	12	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			08	警報検出条件	H状態警報 L状態警報		H状態警報	RW
			09	警報検出遅延時間	1～3600	秒	1	RW
			11	警報検出動作	無効 有効		無効	RW
			21～28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31～38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW

T040004.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット固有コマンド構成（その5）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	アナログ入力チャネル1	13	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			02	第1警報点	−12.5〜112.5	%	100.0	RW
			03	第2警報点	−12.5〜112.5	%	75.0	RW
			04	第3警報点	−12.5〜112.5	%	25.0	RW
			05	第4警報点	−12.5〜112.5	%	0.0	RW
			06	警報検出条件	警報点毎に 上限／下限警報		第1，2：上限警報 第3，4：下限警報	RW
			07	ロックアップ幅	0.0〜10.0	%	1.0	RW
			09	警報検出遅延時間	1〜3600	秒	1	RW
			10	警報検出動作	警報点毎に 有効／無効		全警報点：無効	RW
			21〜28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31〜38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	アナログ入力チャネル2	14	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			02	第1警報点	−12.5〜112.5	%	100.0	RW
			03	第2警報点	−12.5〜112.5	%	75.0	RW
			04	第3警報点	−12.5〜112.5	%	25.0	RW
			05	第4警報点	−12.5〜112.5	%	0.0	RW
			06	警報検出条件	警報点毎に 上限／下限警報		第1，2：上限警報 第3，4：下限警報	RW
			07	ロックアップ幅	0.0〜10.0	%	1.0	RW
			09	警報検出遅延時間	1〜3600	秒	1	RW
			10	警報検出動作	警報点毎に 有効／無効		全警報点：無効	RW
			21〜28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31〜38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW

T040005.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

表　ユニット固有コマンド構成（その6）

データ分類		データ番号		データ名	設定内容			アクセス
					設定値	単位	初期値	
設定パラメータ	アナログ入力チャネル3	15	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			02	第1警報点	−12.5〜112.5	%	100.0	RW
			03	第2警報点	−12.5〜112.5	%	75.0	RW
			04	第3警報点	−12.5〜112.5	%	25.0	RW
			05	第4警報点	−12.5〜112.5	%	0.0	RW
			06	警報検出条件	警報点毎に 上限／下限警報		第1，2：上限警報 第3，4：下限警報	RW
			07	ロックアップ幅	0.0〜10.0	%	1.0	RW
			09	警報検出遅延時間	1〜3600	秒	1	RW
			10	警報検出動作	警報点毎に 有効／無効		全警報点：無効	RW
			21〜28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31〜38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW
	アナログ入力チャネル4	16	01	チャネルタグ番号	8文字		未定義	RW
			02	第1警報点	−12.5〜112.5	%	100.0	RW
			03	第2警報点	−12.5〜112.5	%	75.0	RW
			04	第3警報点	−12.5〜112.5	%	25.0	RW
			05	第4警報点	−12.5〜112.5	%	0.0	RW
			06	警報検出条件	警報点毎に 上限／下限警報		第1，2：上限警報 第3，4：下限警報	RW
			07	ロックアップ幅	0.0〜10.0	%	1.0	RW
			09	警報検出遅延時間	1〜3600	秒	1	RW
			10	警報検出動作	警報点毎に 有効／無効		全警報点：無効	RW
			21〜28	警報発生メッセージ	64文字		未定義	RW
			31〜38	警報復帰メッセージ	64文字		未定義	RW

T040006.EPS

注：［アクセス］R：読み出しのみ可，W：書き込みのみ可，RW：読み書き可

4.1 形名

データ名称 形名	**入出力コード**	全機種
	データ番号	0001
	データ分類	操業データ
		識別情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

TN10の形名を示します。
形名は英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろがすべて“□”（スペース）となります。

プロトコル

ユニット1のTN10の形名（TN10）を読み出す。
要求：01010JXH000100
応答：0101OK0001003TN10□□□□

関連データ

入出力コード（0002）

4.2 入出力コード

入出力コード	全機種
データ番号	0002
データ分類	操業データ
	識別情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

入出力コード

説明

入出力コードを示します。
入出力コードは英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろがすべて“□”（スペース）となります。

入出力コードには以下の12種類があります。

入出力コード	ディジタル入力	ディジタル出力	アナログ入力	アナログ出力
19	8点			
91		8点		
29	4点			
92		4点		
22	4点	4点		
69			4点	
96				4点
66			4点	4点
89	4点		4点	
98		4点		4点
26	4点			4点
62		4点	4点	

T040201.EPS

プロトコル

ユニット1の入出力コード（19）を読み出す。
要求：01010JXH000200
応答：0101OK000200319□□□□□□

ユニット2の入出力コード（26）を読み出す。
要求：01020JXH000200
応答：0102OK000200326□□□□□□

関連データ

形名（0001）

4.3 自己診断結果

	入出力コード	全機種
データ名称	**データ番号**	0003
自己診断結果	**データ分類**	操業データ
		識別情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

自己診断の結果を示します。
自己診断結果には以下の2種があります。

データ値	説明
GOOD□□□□	異常なし
ERROR□□□	異常あり

T040301.EPS

プロトコル

ユニット1の自己診断結果（異常なし）を読み出す。
要求：01010JXH000300
応答：0101OK0003003GOOD□□□□

ユニット2の自己診断結果（異常あり）を読み込む。
要求：01020JXH000300
応答：0102OK0003003ERROR□□□

関連データ

ステータス（0117）

4.4 立ち上げ状態

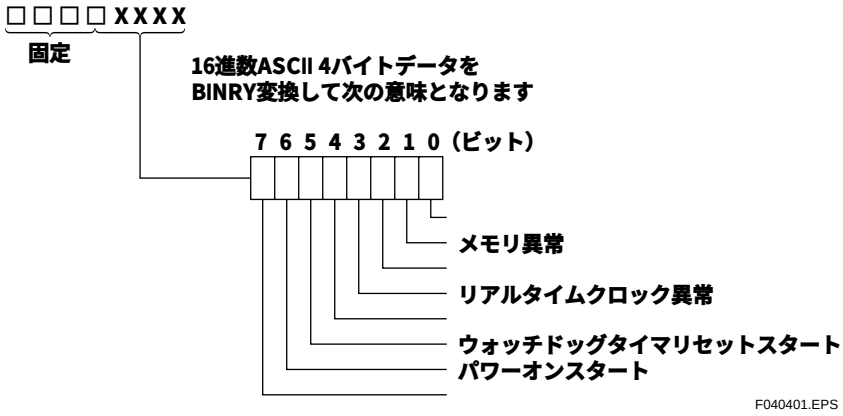
入出力コード	全機種
データ番号	0117
データ分類	操業データ
	識別情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

立ち上げ状態

説明

TN10の立ち上げ状態を示します。



プロトコル

ユニット1の立ち上げ状態（パワーオンスタート）を読み出す。
要求：01010JXH011700
応答：0101OK0117003□□□□0040

ユニット2の立ち上げ状態（ウォッチドックタイマリセットスタート）を読み出す。
要求：01020JXH011700
応答：0102OK0117003□□□□0020

関連データ

自己診断結果（0003）

4.5 ファームRev

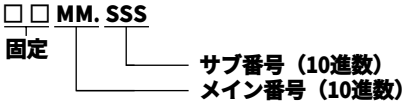
入出力コード	全機種
データ番号	0118
データ分類	操業データ
	識別情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

ファームRev

説明

ファームウェアのRevisionを示します。
ファームRevの表現形式は以下のとおりです。



F040501.EPS

プロトコル

ユニット1のファームRev（01.000）を読み出す。
要求：01010JXH011800
応答：0101OK0118003□□01.000

ユニット2のファームRev（12.345）を読み出す。
要求：01020JXH011800
応答：0102OK0118003□□12.345

関連データ

メニューRev（0120）

4.6 メニューRev

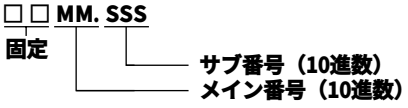
入出力コード	全機種
データ番号	0120
データ分類	操業データ 識別情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

メニューRev

説明

通信項目のRevisionを示します。
メニューRevの表現形式は以下のとおりです。



F040601.EPS

プロトコル

ユニット1のメニューRev（01.000）を読み出す。
要求：01010JXH012000
応答：0101OK0120003□□01.000

ユニット2のメニューRev（12.345）を読み出す。
要求：01020JXH012000
応答：0102OK0120003□□12.345

関連データ

ファームRev（0118）

4.7 アナログ入力値（1～4）

データ名称	**入出力コード**	69，66，89，62
アナログ入力値（1～4）	**データ番号**	0301，0302 0303，0304
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	不可

説明

各チャネルの入力値（瞬時値）を，0.1%単位の固定小数で示します。
入力値は，1～5Vが「0.0」～「100.0」%になります。

データ番号とチャネルとの対応は以下のとおりです。
データ0301：チャンル1　　データ0302：チャネル2
データ0303：チャネル3　　データ0304：チャネル4

プロトコル

チャネル1の入力値（12.3%）を読み出す。
要求：01nn0JXH030100
応答：01nnOK0301003+□□□12.3

チャネル4の入力値（−0.1%）を読み出す。
要求：01nn0JXH030400
応答：01nnOK0304003-□□□□0.1

nn：ユニット番号

関連データ

アナログ出力値（0311～0314）

4.8 アナログ出力値（1～4）

データ名称	**入出力コード**	96，66，98，26
アナログ出力値（1～4）	**データ番号**	0305，0306 0307，0308
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	RUN／STOP

説明

各チャネルの出力値（瞬時値）を，0.1%単位の固定小数で示します。
各出力値はデータの書き込みを行うことによりアナログ出力値を更新できます。
出力値は，1～5Vが「0.0」～「100.0」%になります。

データ番号とチャネルとの対応は以下のとおりです。
データ0305：チャンル1　　データ0306：チャネル2
データ0307：チャネル3　　データ0308：チャネル4

プロトコル

チャネル1のアナログ出力値（12.3%）を読み出す。
要求：01nn0JXH030500
応答：01nnOK0305003+□□□12.3

チャネル4のアナログ出力値（−0.1%）を書き込む。
要求：01nn0JXW030800-□□□□0.1
応答：01nnOK0308003-□□□□0.1

nn：ユニット番号

関連データ

アナログ入力値（0301～0304）

4.9 接点入力状態

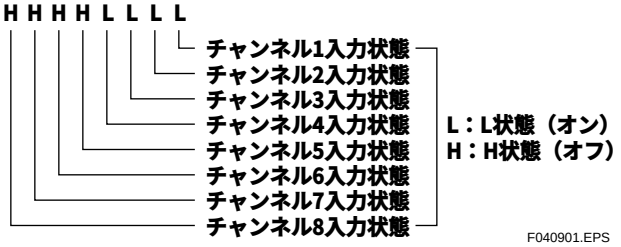
入出力コード	19，29，22，89，26
データ番号	0332
データ分類	操業データ 操業情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

接点入力状態

説明

各接点入力チャネルの入力状態（瞬時値）を示します。
入力状態の表現形式は以下のとおりです。



入出力コードが19，29，22，89，26の場合，チャネル5～8は“□”（スペース）となります。

プロトコル

入力状態（チャネル2と4がL状態で，チャネ1と3がH状態）を読み出す。
要求：01nn0JXH033200
応答：01nnOK0332003□□□□LHLH

nn：ユニット番号

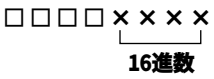
関連データ

4.10 接点入力積算値（1～4）

データ名称	**入出力コード**	96，66，98，26
パルス積算値（1～4）	**データ番号**	0333，0334 0335，0336
	データ分類	操業データ 操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	RUN／STOP

説明

各接点入力チャネルの積算値（瞬時値）を示します。また，任意の値を書き込むことにより積算値をリセットします。積算値は「0000」～「FFFF」（16進数）で，表現形式は以下のとおりです。



F041001.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0333：接点入力積算値1（チャネル1）
データ0334：接点入力積算値2（チャネル2）
データ0335：接点入力積算値3（チャネル3）
データ0336：接点入力積算値4（チャネル4）

入出力コードが19の場合のみ，接点入力積算値3および4にアクセスできます。

プロトコル

接点入力積算値1（ABCD）を読み込む。
要求：01nn0JXH033300
応答：01nnOK0333003□□□□ABCD

接点入力積算値2（0000）を書き込む。
要求：01nn0JXW033400□□□□0000
応答：01nnOK0334003□□□□0000

nn：ユニット番号

関連データ

積算方式（0503，0603，0703，0803）

4.11 接点出力（1～8）

データ名称	**入出力コード**	91，92，22，98，62
接点出力（1～8）	**データ番号**	0341，0342，0343，0344 0345，0346，0347，0348
	データ分類	操業データ
		操業情報
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	RUN／STOP

説明

各接点入力チャネルの出力を制御します。

接点出力の表現形式は以下のとおりです。

□□□□□□□**H**

L：L状態（オン）
H：H状態（オフ）

F041101.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。

データ0341：接点出力1（チャネル1）　データ0342：接点出力2（チャネル2）
データ0343：接点出力3（チャネル3）　データ0344：接点出力4（チャネル4）
データ0345：接点出力5（チャネル5）　データ0346：接点出力6（チャネル6）
データ0347：接点出力7（チャネル7）　データ0348：接点出力8（チャネル8）

入出力コードが19の場合のみ，接点出力5～8にアクセスできます。

プロトコル

接点出力1（H状態）を読み込む。
要求：01nn0JXH034100
応答：01nnOK0341003□□□□□□□H

接点出力4にL状態を書き込む（接点出力4をL状態にする）。
要求：01nn0JXW034400□□□□□□□L
応答：01nnOK0344003□□□□□□□L

nn：ユニット番号

関連データ

パルス出力1～8（0351，0352，0353，0354，0355，0356，0357，0358）

4.12 パルス出力（1～8）

入出力コード	91，92，22，98，62
データ番号	0351，0352，0353，0354 0355，0356，0357，0358
データ分類	操業データ 操業情報
データ型	選択型
参照	不可
設定	RUN／STOP

データ名称

パルス出力（1～8）

説明

各接点入力チャネルの出力を1秒間だけ現在と反対の状態にします。

パルス出力は以下を選択することにより出力を開始します。

選択番号	データ値	説明	
02	START□□□	出力開始	パルス出力を開始する

T041201.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0351：接点出力1（チャネル1）　データ0352：接点出力2（チャネル2）
データ0353：接点出力3（チャネル3）　データ0354：接点出力4（チャネル4）
データ0355：接点出力5（チャネル5）　データ0356：接点出力6（チャネル6）
データ0357：接点出力7（チャネル7）　データ0358：接点出力8（チャネル8）

入出力コードが19の場合のみ，パルス出力5～8にアクセスできます。

プロトコル

パルス出力2（出力開始）を書き込む（接点出力チャネル2にパルスを出力する）。
要求：01nn0JXS035202
応答：01nnOK0352023START□□□

nn：ユニット番号

関連データ

接点出力1～8（0341，0342，0343，0344，0345，0346，0347，0348）

4.13 警報検出状態

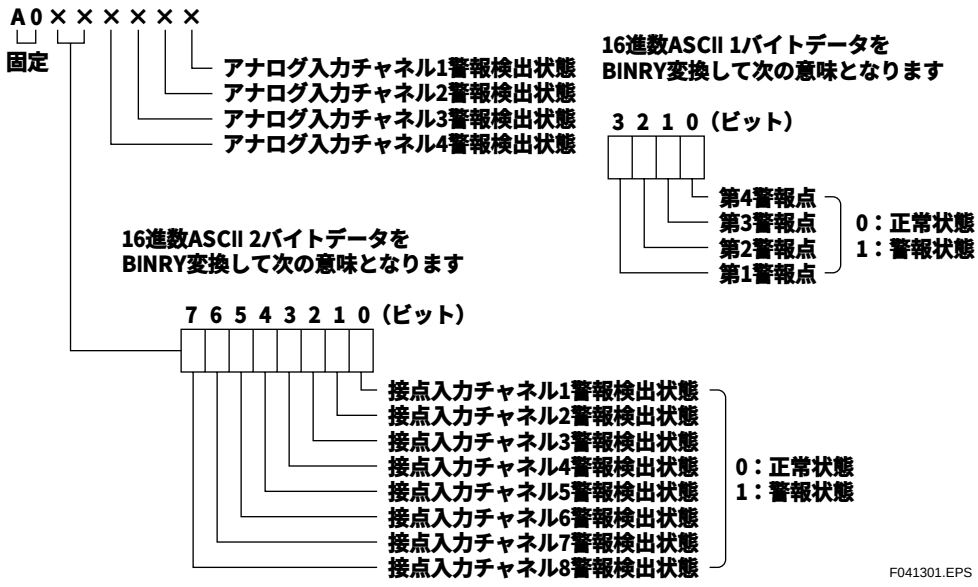
入出力コード	19, 29, 22, 69, 66, 89, 62, 26
データ番号	0359
データ分類	操業データ 操業情報
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	不可

データ名称

警報検出状態

説明

警報の検出状態をアナログ入力は警報点毎，ディジタル入力はチャネル毎に示します。
警報検出状態の表現形式は以下のとおりです。警報検出動作で「無効」と定義されているチャネルは常に「正常状態」となります。



プロトコル

警報検出状態（アナログ入力チャネル2の第2警報点とディジタル入力チャネル3のみが警報状態）を読み出す。
要求：01nn0JXH035900
応答：01nnOK0359003A0800004

nn：ユニット番号

関連データ

4.14 ユニットタグ番号

データ名称	**入出力コード**	全機種
ユニットタグ番号	**データ番号**	0401
	データ分類	設定パラメータ
		ユニット
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ユニットのタグ番号を定義します。
ユニットタグ番号は，英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

プロトコル

ユニットタグ番号（TAGNAME）を読み込む。
要求：01nn0JXH040100
応答：01nn0K0401003TAGNAME□

ユニットタグ番号（ABCD）を書き込む。
要求：01nn0JXW040100ABCD□□□□
応答：01nn0K0401003ABCD□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

ユニットコメント（0403～0404）

4.15 ユニットコメント

データ名称	**入出力コード**	全機種
ユニットコメント	**データ番号**	0403～0404
	データ分類	設定パラメータ
		ユニット
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ユニットのコメントを定義します。
ユニットコメントは，英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大16文字の文字列です。16文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ0403で先頭の8文字を，データ0404で残りの8文字を定義します。

［例］カードコメントが「CARD-COMMENT」の場合
データ0403 ＝“CARD-COM”
データ0404 ＝“MENT□□□□”

プロトコル

ユニットコメント（CARD-COMMENT）を読み込む。
要求：01nn0JXH040300
応答：01nn0K0403003CARD-COM
要求：01nn0JXH040400
応答：01nn0K0404003MENT□□□□

ユニットコメント（COMMENT123）を書き込む。
要求：01nn0JXW040300COMMENT1
応答：01nn0K0403003COMMENT1
要求：01nn0JXW04040023□□□□□□
応答：01nn0K040400323□□□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

ユニットタグ番号（0401）

4.16 （ディジタル入力1～8）チャネルダク番号

入出力コード	19，29，22，89，26
データ番号	0501，0601，0701，0801 0901，1001，1101，1201
データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（ディジタル入力1～8）チャネルダク番号

説明

ディジタル入力の各チャネルのタグ番号を定義します。
タグ番号は，英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0501：チャネル1　　データ0601：チャネル2
データ0701：チャネル3　　データ0801：チャネル4
データ0901：チャネル5　　データ1001：チャネル6
データ1101：チャネル7　　データ1201：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）チャネルダク番号にアクセスできます。

プロトコル

ディジタル入力チャネル1のタグ番号（TAGNAME）を読み出す。
要求：01nn0JXH050100
応答：01nn0K0501003TAGNAME□

ディジタル入力チャネル3のタグ番号（ABCD）を書き込む。
要求：01nn0JXW070100ABCD□□□□
応答：01nn0K0701003ABCD□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

4.17 （ディジタル入力1～4）積算方式

	入出力コード	ユニット共有データ
データ名称	**データ番号**	0503，0603 0703，0803
（ディジタル入力1～4）積算方式	**データ分類**	設定パラメータ
		全体構成
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

パルス入力の各チャネルの積算方法を定義します。

積算方法は，以下の2種から選択し，初期値は「無効」です。

選択番号	データ値	説明	
01	EDGE□□□□	エッジ	ONエッジの回数を積算
02	TIME□□□□	時間	ON時間を1秒単位で積算

T041701.EPS

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力3～4）積算方法にアクセスできます。

プロトコル

チャネル1の積算方法（エッジ）を読み込む。
要求：01nn0JXH050300
応答：01nnOK0503003EDGE□□□□

チャネル2の積算方法（時間）を書き込む。
要求：01nn0JXS060302
応答：01nnOK0503023TIME□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

接点入力積算値1（0333），接点入力積算値2（0334），接点入力積算値3（0335）
接点入力積算値4（0336）

4.18 （ディジタル入力1～8）警報検出条件

データ名称	**入出力コード**	19，29，22，89，26
（ディジタル入力1～8）警報検出条件	**データ番号**	0508，0608，0708，0808 0908，1008，1108，1208
	データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
	データ型	選択型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ディジタル入力の警報検出条件をチャネル毎に定義します。

警報検出条件は以下の2種から選択し，初期値は「H状態警報」です。

選択番号	データ値	説明	
01	L□TO□H□□	H状態警報	L状態（オン）からH状態（オフ）への変化で発生
02	H□TO□L□□	L状態警報	H状態（オフ）からL状態（オン）への変化で発生

T041801.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0508：チャネル1　　データ0608：チャネル2
データ0708：チャネル3　　データ0808：チャネル4
データ0908：チャネル5　　データ1008：チャネル6
データ1108：チャネル7　　データ1208：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）警報検出条件にアクセスできます。

プロトコル

ディジタル入力チャネル1の警報検出条件（H状態警報）を読み出す。
要求：01nn0JXH050800
応答：01nn0K0508003L□TO□H□□

ディジタル入力チャネル3の警報検出条件（L状態警報）を書き込む。
要求：01nn0JXS070802
応答：01nn0K0708023H□TO□L□□

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx11）

4.19 （ディジタル入力1～8）警報検出遅延時間

データ名称 （ディジタル入力1～8）警報検出遅延時間	**入出力コード**	19，29，22，89，26
	データ番号	0509，0609，0709，0809 0909，1009，1109，1209
	データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ディジタル入力の警報を検出してから確定するまでの時間（不感時間）を，チャネル毎に定義します。

警報検出遅延時間は「1」～「3600」秒で，初期値は「1」秒です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0509：チャネル1　　データ0609：チャネル2
データ0709：チャネル3　　データ0809：チャネル4
データ0909：チャネル5　　データ1009：チャネル6
データ1109：チャネル7　　データ1209：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）警報検出遅延時間にアクセスできます。

プロトコル

チャネル1の警報検出遅延時間（1秒）を読み出す。
要求：01nn0JXH050900
応答：01nn0K0509003□□□□□□□1

チャネル3の警報検出遅延時間（12秒）を書き込む。
要求：01nn0JXW070900□□□□□□12
応答：01nn0K0709003□□□□□□12

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），警報検出条件（xx08），警報検出動作（xx11）

4.20 （ディジタル入力1～8）警報検出動作

データ名称	**入出力コード**	19，29，22，89，26
（ディジタル入力1～8）警報検出動作	**データ番号**	0511，0611，0711，0811 0911，1011，1111，1211
	データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

ディジタル入力の警報検出の有無を，チャネル毎に定義します。

警報検出動作の表現形式は以下のとおりで，初期値は「無効」です。

□□□□□□□**D**

D：無効
E：有効

F042001.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0511：チャネル1　　データ0611：チャネル2
データ0711：チャネル3　　データ0811：チャネル4
データ0911：チャネル5　　データ1011：チャネル6
データ1111：チャネル7　　データ1211：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）警報検出動作にアクセスできます。

プロトコル

チャネル1の警報検出動作（無効）を読み出す。
要求：01nn0JXH051100
応答：01nn0K0511003□□□□□□□D

チャネル3の警報検出動作（有効）を書き込む。
要求：01nn0JXW071100□□□□□□□E
応答：01nn0K0711003□□□□□□□E

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），警報検出条件（xx08），警報検出遅延時間（xx09）

4.21 （ディジタル入力1～8）警報発生メッセージ

入出力コード	19，29，22，89，26
データ番号	0521～28，0621～28 0721～28，0821～28 0921～28，1021～28 1121～28，1221～28
データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（ディジタル入力1～8）警報発生メッセージ

説明

ディジタル入力の警報発生時に送信するメッセージをチャネル毎に定義します。
定義できるメッセージは，最大64文字の文字列です。有効文字が64文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0521～28：チャネル1　　データ0621～28：チャネル2
データ0721～28：チャネル3　　データ0821～28：チャネル4
データ0921～28：チャネル5　　データ1021～28：チャネル6
データ1121～28：チャネル7　　データ1221～28：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）警報発生メッセージにアクセスできます。

プロトコル

チャネル1の警報発生メッセージに「ティシタルニュウリョクチャネル1ケイホウハッセイメッセーシ」を書き込む。
要求：01nn0JXW052100ティシタルニュウ
応答：01nn0K052100Xティシタルニュウ
要求：01nn0JXW052200リョクチャネル1
応答：01nn0K052200Xリョクチャネル1
要求：01nn0JXW052300ケイホウハッセイ
応答：01nn0K052300Xケイホウハッセイ
要求：01nn0JXW052400メッセーシ□□□
応答：01nn0K052400Xメッセーシ□□□
要求：01nn0JXW052500□□□□□□□□
応答：01nn0K052500X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW052600□□□□□□□□
応答：01nn0K052600X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW052700□□□□□□□□
応答：01nn0K052700X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW052800□□□□□□□□
応答：01nn0K052800X□□□□□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

4.22 （ディジタル入力1～8）警報復帰メッセージ

入出力コード	19，29，22，89，26
データ番号	0531～38，0631～38 0731～38，0831～38 0931～38，1031～38 1131～38，1231～38
データ分類	設定パラメータ ディジタル入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（ディジタル入力1～8）警報復帰メッセージ

説明

ディジタル入力の警報復帰時に送信するメッセージをチャネル毎に定義します。
定義できるメッセージは，最大64文字の文字列です。有効文字が64文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ0531～38：チャネル1　　データ0631～38：チャネル2
データ0731～38：チャネル3　　データ0831～38：チャネル4
データ0931～38：チャネル5　　データ1031～38：チャネル6
データ1131～38：チャネル7　　データ1231～38：チャネル8

入出力コードが19の場合のみ，（ディジタル入力5～8）警報復帰メッセージにアクセスできます。

プロトコル

チャネル1の警報復帰メッセージに「ティシタルニュウリョクチャネル1ケイホウフツキメッセーシ」を書き込む。
要求：01nn0JXW053100ティシタルニュウ
応答：01nn0K053100Xティシタルニュウ
要求：01nn0JXW053200リョクチャネル1
応答：01nn0K053200Xリョクチャネル1
要求：01nn0JXW053300ケイホウフツキメ
応答：01nn0K053300Xケイホウフツキメ
要求：01nn0JXW053400ッセーシ□□□□
応答：01nn0K053400Xッセーシ□□□□
要求：01nn0JXW053500□□□□□□□□
応答：01nn0K053500X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW053600□□□□□□□□
応答：01nn0K053600X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW053700□□□□□□□□
応答：01nn0K053700X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW053800□□□□□□□□
応答：01nn0K053800X□□□□□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

4.23 （アナログ入力1～4）チャネルダク番号

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1301，1401，1501，1601
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）チャネルダク番号

説明

アナログ入力の各チャネルのタグ番号を定義します。
タグ番号は，英数字（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される最大8文字の文字列です。8文字未満の場合には，有効文字より後ろを全て“□”（スペース）とします。初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1301：チャネル1　　データ1401：チャネル2
データ1501：チャネル3　　データ1601：チャネル4

プロトコル

チャネル1のタグ番号（TAGNAME）を読み出す。
要求：01nn0JXH130100
応答：01nn0K1301003TAGNAME□

チャネル3のタグ番号（ABCD）を書き込む。
要求：01nn0JXW150100ABCD□□□□
応答：01nn0K1501003ABCD□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

アナログ入力値1（0301），アナログ入力値2（0302）
アナログ入力値3（0303），アナログ入力値4（0304）

4.24 （アナログ入力1～4）第1警報点

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1302，1402，1502，1602
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）第1警報点

説明

アナログ入力の各チャネルの第1警報点を定義します。通常，第1警報点は上々限警報点として使用します。

第1警報点は「－12.5」～「112.5」%で，初期値は「100.0」%です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1302：チャネル1　　データ1402：チャネル2
データ1502：チャネル3　　データ1602：チャネル4

プロトコル

チャネル1の第1警報点（100.0%）を読み出す。
要求：01nn0JXH130200
応答：01nn0K1302003□□□100.0

チャネル3の第1警報点（101.5%）を書き込む。
要求：01nn0JXW150200□□□101.5
応答：01nn0K1502003□□□101.5

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04），第4警報点（xx05）
警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx07），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.25 （アナログ入力1～4）第2警報点

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1303，1403，1503，1603
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）第2警報点

説明

アナログ入力の各チャネルの第2警報点を定義します。通常，第2警報点は上限警報点として使用します。

第2警報点は「－12.5」～「112.5」%で，初期値は「75.0」%です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1303：チャネル1　　データ1403：チャネル2
データ1503：チャネル3　　データ1603：チャネル4

プロトコル

チャネル1の第2警報点（100.0%）を読み出す。
要求：01nn0JXH130300
応答：01nn0K1302003□□□100.0

チャネル3の第3警報点（101.5%）を書き込む。
要求：01nn0JXW150300□□□101.5
応答：01nn0K1503003□□□101.5

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第3警報点（xx04），第4警報点（xx05）
警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx07），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.26 （アナログ入力1～4）第3警報点

データ名称	**入出力コード**	69，66，89，62
（アナログ入力1～4）第3警報点	**データ番号**	1304，1404，1504，1604
	データ分類	設定パラメータ
		アナログ入力チャネル
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

アナログ入力の各チャネルの第3警報点を定義します。通常，第3警報点は下限警報点として使用します。

第3警報点は「－12.5」～「112.5」%で，初期値は「25.0」%です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1304：チャネル1　　データ1404：チャネル2
データ1504：チャネル3　　データ1604：チャネル4

プロトコル

チャネル1の第3警報点（100.0%）を読み出す。
要求：01nn0JXH130400
応答：01nn0K1304003□□□100.0

チャネル3の第3警報点（101.5%）を書き込む。
要求：01nn0JXW150400□□□101.5
応答：01nn0K1504003□□□101.5

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第4警報点（xx05）
警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx07），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.27 （アナログ入力1～4）第4警報点

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1305，1405，1505，1605
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）第4警報点

説明

アナログ入力の各チャネルの第4警報点を定義します。通常，第4警報点は下々限警報点として使用します。

第4警報点は「－12.5」～「112.5」%で，初期値は「00.0」%です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1305：チャネル1　　データ1405：チャネル2
データ1505：チャネル3　　データ1605：チャネル4

プロトコル

チャネル1の第4警報点（100.0%）を読み出す。
要求：01nn0JXH130500
応答：01nn0K1305003□□□100.0

チャネル3の第4警報点（101.5%）を書き込む。
要求：01nn0JXW150500□□□101.5
応答：01nn0K1505003□□□101.5

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04）
警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx07），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.28 （アナログ入力1～4）警報検出条件

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1306，1406，1506，1606
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

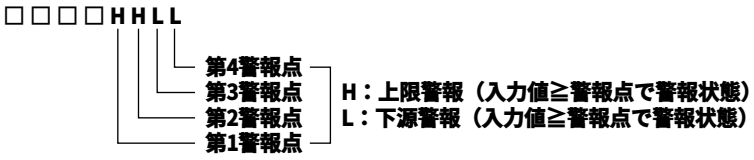
データ名称

（アナログ入力1～4）警報検出条件

説明

アナログ入力各チャネルの警報検出条件を警報点毎に定義します。

警報検出条件の表現形式は以下のとおりで，初期値は「第1，第2警報点が上限警報で第3，第4警報点が下限警報」です。



F042801.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1306：チャネル1　　データ1406：チャネル2
データ1506：チャネル3　　データ1606：チャネル4

プロトコル

チャネル1の警報検出条件（第1と2警報点が上限警報，第3と4警報点が下限警報）を読み出す。
要求：01nn0JXH130600
応答：01nn0K1306003□□□□HHLL

チャネル3の警報検出条件（4警報とも上限警報）を書き込む。
要求：01nn0JXW150600□□□□HHHH
応答：01nn0K1506003□□□□HHHH

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04）
第4警報点（xx05），ロックアップ幅（xx07），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.29 （アナログ入力1～4）ロックアップ幅

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1307，1407，1507，1607
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）ロックアップ幅

説明

アナログ入力各チャネルのロックアップ幅を定義します。
ロックアップ幅はチャネル毎にひとつであり，4警報点で共通です。

ロックアップ幅は「0.0」～「10.0」%で，初期値は「1.0」%です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1307：チャネル1　　データ1407：チャネル2
データ1507：チャネル3　　データ1607：チャネル4

プロトコル

チャネル1のロックアップ幅（1.0%）を読み出す。
要求：01nn0JXH130700
応答：01nn0K1307003□□□□□1.0

チャネル3のロックアップ幅（2.3%）を書き込む。
要求：01nn0JXW150700□□□□□2.3
応答：01nn0K1507003□□□□□2.3

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04）
第4警報点（xx05），警報検出条件（xx06），警報検出遅延時間（xx09），警報検出動作（xx10）

4.30 （アナログ入力1～4）警報検出遅延時間

	入出力コード	69，66，89，62
データ名称 （アナログ入力1～4）警報検出遅延時間	**データ番号**	1309，1409，1509，1609
	データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
	データ型	文字列型
	参照	RUN／STOP
	設定	STOP

説明

アナログ入力の警報を検出してから確定するまでの時間（不感時間）を，チャネル毎に定義します。
警報検出遅延時間はチャネル毎にひとつであり，4警報点で共通です。

警報検出遅延時間は「1」～「36000」秒で，初期値は「1」秒です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1309：チャネル1　　データ1409：チャネル2
データ1509：チャネル3　　データ1609：チャネル4

プロトコル

チャネル1の警報検出遅延時間（1秒）を読み出す。
要求：01nn0JXH130900
応答：01nn0K1309003□□□□□□□1

チャネル3の警報検出遅延時間（12秒）を書き込む。
要求：01nn0JXW150900□□□□□□12
応答：01nn0K1509003□□□□□□12

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04）
第4警報点（xx05），警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx08），警報検出動作（xx10）

4.31 （アナログ入力1～4）警報検出動作

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1310，1410，1510，1610
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）警報検出動作

説明

アナログ入力各チャネルの警報検出の有無を警報点毎に定義します。

警報検出動作の表現形式は以下のとおりで，初期値は「4警報点とも無効」です。

F043101.EPS

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1310：チャネル1　　データ1410：チャネル2
データ1510：チャネル3　　データ1610：チャネル4

プロトコル

チャネル1の警報検出動作（4警報とも無効）を読み出す。
要求：01nn0JXH131000
応答：01nn0K1310003□□□□DDDD

チャネル3の警報検出動作（第1と第2警報のみ有効）を書き込む。
要求：01nn0JXW151000□□□□EEDD
応答：01nn0K1510003□□□□EEDD

nn：ユニット番号

関連データ

警報検出状態（0359），第1警報点（xx02），第2警報点（xx03），第3警報点（xx04）
第4警報点（xx05），警報検出条件（xx06），ロックアップ幅（xx08），警報検出遅延時間（xx09）

4.32 （アナログ入力1～4）警報発生メッセージ

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1321～28，1421～28 1521～28，1621～28
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）警報発生メッセージ

説明

アナログ入力の警報発生時に送信するメッセージをチャネル毎に定義します。
定義できるメッセージは，最大64文字の文字列です。有効文字が64文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。
初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1321～28：チャネル1　　データ1421～28：チャネル2
データ1521～28：チャネル3　　データ1621～28：チャネル4

プロトコル

チャネル1の警報発生メッセージに「アナロクニュウリョクチャネル1ケイホウハッセイメッセーシ」を書き込む。
要求：01nn0JXW132100アナロクニュウリ
応答：01nn0K132100Xアナロクニュウリ
要求：01nn0JXW132200ョクチャネル1ケ
応答：01nn0K132200Xョクチャネル1ケ
要求：01nn0JXW132300イホウハッセイメ
応答：01nn0K132300Xイホウハッセイメ
要求：01nn0JXW132400ッセーシ□□□□
応答：01nn0K132400Xッセーシ□□□□
要求：01nn0JXW132500□□□□□□□□
応答：01nn0K132500X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW132600□□□□□□□□
応答：01nn0K132600X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW132700□□□□□□□□
応答：01nn0K132700X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW132800□□□□□□□□
応答：01nn0K132800X□□□□□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

4.33 （アナログ入力1～4）警報復帰メッセージ

入出力コード	69，66，89，62
データ番号	1331～38，1431～38 1531～38，1631～38
データ分類	設定パラメータ アナログ入力チャネル
データ型	文字列型
参照	RUN／STOP
設定	STOP

データ名称

（アナログ入力1～4）警報復帰メッセージ

説明

アナログ入力の警報復帰時に送信するメッセージをチャネル毎に定義します。
定義できるメッセージは，最大64文字の文字列です。有効文字が64文字未満の場合には，有効文字より後ろをすべて“□”（スペース）とします。
初期値は「未定義」（全てスペース）です。

データ番号とチャネルの対応は以下のとおりです。
データ1331～38：チャネル1　　データ1431～38：チャネル2
データ1531～38：チャネル3　　データ1631～38：チャネル4

プロトコル

チャネル1の警報復帰メッセージに「アナロクニュウリョクチャネル1ケイホウフツキメッセーシ」を書き込む。
要求：01nn0JXW133100アナロクニュウリ
応答：01nn0K133100Xアナロクニュウリ
要求：01nn0JXW133200ョクチャネル1ケ
応答：01nn0K133200Xョクチャネル1ケ
要求：01nn0JXW133300イホウフツキメッ
応答：01nn0K0133300Xイホウフツキメッ
要求：01nn0JXW133400セーシ□□□□□
応答：01nn0K133400Xセーシ□□□□□
要求：01nn0JXW133500□□□□□□□□
応答：01nn0K133500X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW133600□□□□□□□□
応答：01nn0K133600X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW133700□□□□□□□□
応答：01nn0K133700X□□□□□□□□
要求：01nn0JXW133800□□□□□□□□
応答：01nn0K133800X□□□□□□□□

nn：ユニット番号

関連データ

Blank Page

取扱説明書　改訂情報

資料名称　　：TN10通信インタフェース説明書
資料番号　　：IM 77E01B01-10

1999年10月／初版
新規発行
2003年9月／2版
誤記訂正
2004年5月／3版
社名変更

著作者　　横河電機株式会社
発行者　　横河電機株式会社
〒180-8750　東京都武蔵野市中町2-9-32

Blank Page

Blank Page

YOKOGAWA ◆
横河電機株式会社

ネットワークソリューション事業部 国内営業部　0422-52-6765
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
中　部　支　社　052-586-1681
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-27-2（日本生命笹島ビル12階）
関　西　支　社　06-6368-7130
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101（大同生命江坂ビル7階）
中　国　支　社　082-541-4488
〒730-0037 広島市中区中町8-12（広島グリーンビル8階）
九　州　支　社　092-272-1731
〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21（大博通りビジネスセンター7階）

支　店

北海道	011-223-2821	北　陸	076-231-5301
東　北	022-243-4441	岡　山	086-221-1411
千　葉	0436-61-6751	四　国	087-821-0646
豊　田	0565-33-1611	北九州	093-521-7234

営　業　所

新　潟	025-241-3511	川　崎	044-280-4161
水　戸	029-306-2520	水　島	086-427-5181
堺	072-224-2515	新居浜	0897-33-9374
四日市	0593-52-4144	沖　縄	098-862-2093
鹿　島	0299-93-3801		